aれてある、たほ皇軍の各地進出で開北北停車場附近の敵軍は形勢非なりこ見て同地の守備を保安隊に一任撤退を決意 離論方面の酸酸が起するが如き鬼勢に出てたので支那軍はB下版を同方面に凝軍を嫁還量の避用を開止せんとしてもり、唯二十四日來歐所に監然な自義事が顧開

海二十五日同盟】〇〇及で北方〇〇南地に果成だ敵町上陸を投行したわが軍は運動戦を脱退、泰に〇〇部隊は昨二十四日既に紫重要地路を占據、耐北及び

陸軍部隊逐次敵を制

は死傷者を収容し鬱すこれをの獄戯に堪へかね各削線において 野天に るしたさく間

司令部午前十時謎表=栗甌大尉の【天津二十五日同盟】支那駐屯軍

多数を占めてゐることが物明し

窓廿四日同盟」支那軍は我軍 | 陸軍敵前上陸の際商還に抵抗を

づけた酸は、我が方に収容した

千五百名を収容

の敵

秋氣訪る新戦場

的大打撃を興へ完全に占領、同部隊は〇〇〇を押し立てて萬蔵を絶叫後、 【〇〇二十五日同盟』比里村に向つた小林部隊主力は午前七時半攻撃前進を開始し職々たる 山また山の西方高地に進撃激戦の後、遂に難攻不落を誇る三百四十六米の高地の敵に全滅 南貫村の山岳地帶に更に攻撃前進を開始した

無敵空軍山岳地帯を爆撃(天津二十四日同盟)代を満れて、平原

神逑·懷來平野席捲

族を掲げ限下に見下す懷來平野にいよく~急長城線を占領し各部隊は何れも長城高く日前他の一旦の主義はあるく日前の主義の一般は東西より山脈の主義の主義の一十四日野、山田、皇後縣の際は自り、石州郡を通過し長戦の節目を高齢 **地人松樹紙田北街高一千三百九十米の高地(八菱湖西方へモロ)** である。更に半級鍵度方より運搬の適田部隊は自洋域とり山田深入

原則的に受諾する

1頭の上海部令航路は脱穀の連り

健康·經濟一家。幸福

國民の體力を改善し!!

- て符述にしめ

北六日午・見

軍 新一年安

**幺米食**にあり

理想的玄米釜。推獎

か、中北に狭 が更に背面と 芝栗線も中止

島級

非常時に

【〇〇二十四日同盟】 居庸懶路落後収後の敵を機械す 十四日午前午後に亘り各部隊は銀選を連ねっ

行場に待機せる飛行機多數を焼き多大の

のアギザベス駐田第十十歳一千名地居前最の保証能に振行協設した地居前最の保証能に振行協設したインでありた。

十四日午後アギザベバ

とに狭定、石

「東京市市」○○海軍航谷院分除 能を選擇なく凝排しつくあ

大なめの一手酸として同間難を利により國際關係を自國に復利に振って有利に振って自國に有利に振って明朝はイギリス能に別國の同情に

不可能と知った

他に爆弾を落

東京 大町 東京 大町 東京 大町 三中井百貨店 木町 東京 北京 東京 大町 東京 東京 大町 東京 東京 大町 東京 東京 大町 東京 東京 大町 三中井百貨店

へ派兵

北門の城壁を陸りるとことはわが 屋が上る、蓋然たる善饗は附近の 思想かり「意趣に進むとわか 言はん方なし、第

亦柴部隊の偉功

に意伏する麓の開背部壁を襲越し、相以下在京駅駅を召集して臨時間 【濁漆鋼二十四日同盟】津浦綴方」と歌部隊主力と識実し遂に之を建 の軍事行動がいよ! 【ロンドン廿四日同盟】 テエンバ 英緊急閣議 坦擊 ないと見られ 日イーデン外 一般性化しつ

> 愛用を博せる 新人層に躍進的

して数く、由上りの夕陽に照り一部海縣を攻略し盟門高く日章派を一つあると間時にアメリカ政府の意 度、南京を空襲 り廿三日にかけ〇〇及た〇〇地區 協議を養けることへなつたが日本ながら先づ〇〇を確保し廿二日よ 議を開き上海の事態を中心として 競した、地の利を知る敵場治安部 向がはつきりしない事實に魔み居

液般粧化

単の最明線だ、神器はなほも嵌々一の髪地を凸膜、甘四日童に目指す一 映像され見聞い岩壁を確け出し。 自兵職を演じたが赤柴部隊はその

て、交京坂に舞

と無いを確認

糖尿病、心臓病、

島間観、今度に

関りで映画者を

に泥剤のさ中に

てれたそうな

天に吾々の身間に 最も必要

なヴィタミンA及Bは

そったである都を合して一萬名を

せしめんこしたが我が陸職隊の精鋭安田部隊出しる我が陸軍の到着前に職闘を有利に展開出せる我が陸軍の到着前に職闘を有利に展開手制の母闘等、公平路方面に那畿督與を加へた有力部隊をはて過去に際罷廃退したので支那側は護に卅六郎を強振式方の時間的政府

防備する我が建華隊に法派な攻撃を加へ来つたが我が陸華隊は上く

師は殆ど難関力を喪失した模様である、 上陸が成行されたので支那側は後方に待機してる

むその幸福を講 八夏



た、東理由を所軍に申しますと、立 (たらと申されますがとまを係るに喰しく時ばれる標になりまし 食べたいのたが卵が膨ぐボルを食べ!の愛に流 非 よく人が玄米や搗米を

の欠込にあるのであります。 助膜炎、肺結核の主因がこ **脚氣や胃腸病、動脈硬ます。共の他ニシン、ボー** 野臓、肩コリ、神経痛 五十万人の思者を出してゐる。 の方面に誠に重賞であります。 九麥は一度搗いたのみ

ヴイタミンの歓乏によ で、 ・ では、 、 で

は破壊され見る勝るなく、〇〇クラブから前級へ弾丸を

支は風來坊 鄭彈は文字通り雨後、記者はずぐ期の中にガバとうち臥した、億か五、六十米の近前機の對射した曹叡約「埋除に註り配り近 **で低れた戦の死態がある、鷲甲衛側が散乱してふる、封を切らずから競令をかけられて頭を突き込んだ、少し頭をもたげると** 第1に機能された地だ、白豊の狂魔の年野に思るつかせず、日

別角の軍刀も

長尾中尉の宅では語る

関で名数の都死を発げた陸軍中尉

心が作られ、日際を目さして至く敵の数がすぐ目の前に見るる。 は突進しては父伏せ「危い老新聞記書く伏古」と能 こ見ると願い死罪だ、機銃や柵撒彈の合間を見て80つくばつて郷むとごつんしと異常ってのかとう、臨をあげ トの頭薬箱が茂つも茂つも讃楽してある、昨び逆襲した敵が我 砂塊をあげて忽ち動理が直く時にバラノーと飛んで來 持つてゐた水間には敵類が三酸質

那人をどう疑くかについてはまる

九兩日東京明治神宮外苑に於て舉 · 一般に野桃頭按は來るサハ、サ

下さいました、で戦地から度をそれはく、親身の様に交際して「山根さんは私道の様に

部隊の信望を集めた山根大尉

村一夫氏を役成として出際せしめ

龍光寺で慰靈祭

#III

便に混血の場合其の 胸つかえ・酒の宿酔 ・急激の腹痛・

所究研學化理**丛莱**娜本普一義 卷七八五五三〇五九七二〇年以晚·春三七五三一概會報

۵

本

剤の

靈

他胃腸障害軆の疲れ

學成百貨店

安達少尉等三氏の奇禍

マヨネーズ



28 29 30 | 型里的

/// යා යා යා යා යා යා

仁川の潮時

戦線に贈る温

は絶對拒否

門通セプランス個院前安全地帯 は、無路にも安全地帯に飛込んで 財は旗部、中谷は宮上 1—1477、2000年改任政治的10年之,重称15.6的全地忠定和汉元で,居は旗部、中谷城曾主部は上部一五日午町一時二十分2.5万度城市一段。60步火七九城縣中谷总营土营、民工网部强打全部三温部、失速步

- 松忠等・ | 一に韓国され三片見、手称を引致取調べ中 | 松忠等・ | 一に韓国され三片見、手称を引致取調べ中

「京城町内では悲鳴をあげ水屋だけ」んで悪傷水圏かあることを探知し、「簡素の離児ク氷・から吹く足のため」は近年にない大い書きれたつけ込

**硫**尼中尉、鹽見中尉、

銃後の姿を戦線に送る

應募印畵全部皇軍慰問に戦線へ送る

一十圓、三等三人各十圓、但しこの質金は受容器である今賞金一等一人名十圓、二等二人各に於て圓鼠に時局級監測線の含め必要なる方面に使用する也

- ふので二萬枚の眞綿チョツ

手四を同僚社を成一同より二千国 一道に献めしたので、文書派長に直出し、大学派長に直出し、大学派の表現を出出日井坂文書派長を 李九田男、その他職僚者

ヤビネ型又はポス

防空協定を改定

技は戯上來る十月一日から鏡上げ「時半から本府に朝鮮中央院学院事業迫せる日支の情報によつて院を一直られて來たので、廿五日午後一

7

තු ලො ලො ලො ලො

ける出帆

ない事を離め、ない事を離め、

から競力な と、その服用 がリンから競力な 病気を脳斑

の窓ばしい韓妖には驚いた。 俗方面の治療者から近られた多数、 俗方面の治療者から近られた多数、 問所を訪れた筆者は博士の眞

\*酒 井婦 人 電話本局2000人大番 紀 長 いたのルナラ 人病 院 學(本)於四日 新 道

(約三〇名) 年齡十八歲以上三十歲以下(約三〇名) 年齡二十歲以上四十歲以下

八葉語ュテ

樂

部

フタナベ

京城本町ニノー 九

か逆方はハガヤにつらい症状を 100

『解散を歌韻』 吸流脈、ヒー(等で苦しむ人での原因を去 ずん島 でせき、たん説がれ呼ばの原因を去 ずん島 でせき、たん説がれ呼ばから、不影戦の影響、足里ベレ、よるひ by MITAMASA SERVICE

博士の新療法 本で

風·高

する

成小內 對人類 反見 類別 治科科 及重要

をさく原識して自動的に五段十銭 する百十歳名の人夫! 太田乙三郎 一部丁里運工防水堤補強工事に出役 れも要体中にいろし、た方法で童

人夫の感激

先生が調べて<br />
感激<br />
夏休み中について

その中に高女校四年生期内ス 灰ぐまし

要と我に北支の第一線兼士に贈っ| 儒者に戦闘した|多数に選したので去る二十日慰問| 巻に入れて贈りその趣々しさに融のながその数二千五百八十三連の| を熊邦しこれを諷吹文と我に慰問

を順形しこれを激励文と時に財助・文銀川村氏の話によると令息勝人の私」と『武派長久愛國』の文字「百個を皇和歌問金としてお报した

二千五百の慰問作文と共に

群山から第一線

勇猛死の散兵陣

戦すんで戦友探すも悲壯

友軍の爆撃に興奮思はず快哉を叫ぶ

でくして快載を呼びましれ窓かと昼間を極めた程でありまればのか目のあたりにであります全で開発しまはす全でありたで連襲し来たり最早やこれが対象とと爆裂して、日後語が皮をと爆裂して、日後語が皮をと爆裂して、

心一人緊張を覚え幽死に身を固め

受け列車は立往生ことに於て身

戦傷に撓まず進撃

高る間に敵の矢径は火焰もう!へとりが射して事なるを得ました。見

したが幸に別収なるが軍が順方よ

身に製彈うけるも運强し

長戸伍長の

たより

ラウンドで盛天な府民弾を執行す「趙陽素」田原義人七十一年出力では北月一日日の出町が「第三十、全國権、朴龍

して、

自他共に爽快な

夏の汗はむ體臭を消

氣分を滿喫!

も部隊長の威勢のよい號令に全地 外て黒い土煙を上げましたがそれ

が列車の年期院五十米のところに

活像に攻撃削進の隊形整へ高速棚一時に午後三時、龍前五〇〇木岩水

を魅了する芳香は一滴

世界高貴の花精三十八種 が藝術的に調和して萬人

アリデナル 香水

よく一週間を保ちます。

便局郵便識ではその結晶の第一

【光州】二十三月午後四時全層道(400回日君の母等に贈り帰臥中の) 子師は私の家庭を教へ」と回れる 用させ、これを致つて呼吸を購入 精繭五粒宛

一院長井上田多中財はその家庭の子

|柔の短針脚跳としては乳部新に盤||に〇星の紫像あり用〇〇ドが空間での意思によれば感異球||個を必要とするも高射衝撃を関する。

病母を残し入營の孝子に

今度は郷友が醵金

(大田) 廿三日午後九時二十分職(大田) 廿三日午後九時二十分職(五名の妖人と夕庭皮に外出大田郷評郷時が運加、輸山開篭場(五名の妖人と夕庭皮に外出大田郷評郷時が運加、輸山開篭場(五名の妖人と夕庭とり外間 を買つたので輸出に進行手

へたが削るなく緩縮した石

こりですれバイオレット

なっ香りを含みます。
るものにしてスミレの芸術三千敷育個の内よの位かに一夏を得るに維う過費重にして高度の大きが三千敷育個の内よ

介リジナルロ

趣味の

重にして高價なる香りを含います より値かに一覧(十意識)を得るに過ぎぬ貴 採牧したるものにしてバラの推約21千個の内 比の薫りは南歐ブルガリヤ張のバラの花より

定假 金五十錢

**差當り不足器材費集めて** 萬全の策を講ずる

一十十十十二

ij

定置 金五十毫

夏はユリの花敷百個に等しく質に貴重なる香め、南燐産エリの花の香りにして本香水の一め、南燐産エリの花の香りにして本香水の一色の薫りは芳香の後のなる事世界―と解せら

定價 金五十鐘

銃後の熱誠の珠玉として

鐘紡で最高の表彰

は皇軍の姓

一百版を接頭するとになり去る廿一

「〇〇」香な言凱慶野士放佐久間中」の施設が難じてある肺疾 集合所に安置し一般府民の場番参しで足るので近く公平安富な

何れも厳酷に執

と許してあるがこれが晋別式に で一般に歌金を融機し可及修治

四日え一にこれが實現を聞る方針である 各地の献金

用する近代人の常識です

オリデナル香水を調合 して自己に適した句ひ

を創造する事も香水を使

個性のある芳香ですが 單獨に使用しても夫々

**會社 安 譯 井** 世東東市日本葡華水天宮町 筒

堂

本舗

現所内の既取降散路は大量に企

目指すは人口卅五萬の大都市建設

ロ十一萬突破するに至り今や府外へ郊外萬六千二百四十四人こそ著しい増加で現過去十五年間の統計の示すところによる が、その躍進を如實に設する人

の計畫を凌駕するは勿論にして、いよくしこあるが、最近の増加率からみて質際は率ろこあるが、最近の増加率からみて質際は率ろの隣接地三面十七ケ洞に於ける推定人口を加の隣接地三面十七ケ洞に於ける推定人口を加四萬五千五百五十餘人に將來併吞すべき像定四萬五千五百五十餘人に將來併吞すべき像定四萬五千五百五十餘人

大

かに影り望京橋、柳屋根からい聴

社 會 式 株 氷 製 邱 大

花園遊園地 新西方

社會式株盡無邱大

 $\mathbb{H}$ 

郎

尙 慶 邱

同一員職局便郵邱大

同一員職局賣專方地邱大

3

古

輔

大邱取引所理事長

議院

張

占

郎

П

肇

榮自 動 車株式

民 房

同

大 邱 朝 運 送 酒 造 式

合

聯合組融金鮮朝

道 北 尚 慶

大 娴 商 合 朝鮮信託會社大邱支店 漢 殖 邱 城 鮮 產 拓殖會社大邱支店 銀 銀 金 Τ. 同 ÎÏ 行 仃 矅 大 大 大 銀 銀 团 邱 邱 會 支店 支 1i ÎÎ

社會式株績紡絲製倉片 社會式株絲製邱大 社會式株絲生鮮朝

佐々木敬

郎店社

文化施設も着々と整備し

具に理想を描く

野野に伴って総く街蟹布市かり来。戦略が国に着手されてある。これ 動都市に観じつくあり、商工都市 が完成の難には、既に市団町にお 及に全事かに関連され、部市部 たり名買表に半部の建都として施 健によれば南に整面から北宮両 られて大郎がの上籍であり人口に信と 健によれば南に整面から北宮両 られて大郎であった。よれ

規模も雄大諸施設遺憾なし

市街地計畫の概要

開助より各員に至ら更要時間を発出し、認該地なる推断水利温合所

文化のさきがけ

**歴製地に工事七萬限を投じて計職 部所ほか六十三ヶ所の歌出所を統** 

工鑛業の勃興に貢献偉大な

め、郷大衆軍党株式館出の武量で一届城に壁筒北道一個屋前南道、 南鮮合電大邱支店

北道の一部に亘り、

これが電灯電力の供給量は次の

朝鐵自動

車株 祉

卒業生の指導

明せられ、九ヶ月乃至一ヶ年間最中野青年の養成

別議を施じ、置道の本選に立學校六年へ一ヶ所六十人紀人

**海岛庙,城位岛堤城江岛,** 

能にあり、大邱少年園の園長に 大邱西工育議所特別・導資等の要 大邱西工育議所特別・導資等の要 大邱西工育議所特別・導資等の要 はこれが、日本学の一般である。 をは、日本学の一般である。 のののでは、日本学の一般である。 のののでは、日本学の一般である。 のののでは、日本学の一般である。 ののでは、日本学の一般である。 ののでは、日本学の一般では、日本学の一般である。 ののでは、日本学の一般である。 ののでは、日本学の一般では、日本学の一般である。 ののでは、日本学の一般では、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学の一を、日本学

の計畫

すでに力强き大進軍!

雄道慶北の伸張性

婦人の教養、本事業を選行するには一家の主婦たる

□ 1世であるから、第二位では長に経 の敬化指導にあめてあるが、婦人も一 の敬化指導にあめてあるが、婦人も一 は対解人等量有した。

商工界の

整備北海省沿海鎮縣 大師好 功**労者** 松前商會主

寒幽宮長として大邪郷殿のためにの一人で大耶田南組合長、大耶玉の一人で大耶田南組合長、大耶玉 芸的第分を掘つて來た人で駐西

得では自信に確ちた意思を述べて 研究の歩を伸ばし隣回たる資料を

つあるが氏は交替近襲撃方面にも、現在氏の経営にかくるで工業大郎として漸く動散に乗りつ、者の注意を喚起してある ■陶朝鮮自動車株式野社出張的 経営にかくる事業は左 大回海温灯

で、ニヤ特約店として鮮肉各地に一個に収費す(ロ)セメント月が野セメ 財政で、日)セメント月が野セメ 財政で、これが野セメ

精米撒、嬰心壓、

(イ)機関連に助力選兵―道油蔵|

**隠望一身に**嵬する

電気業界の

区

商工界にも不滅の功績

寫與江坂不度賢氏)

いはれる大邱リンコはこの地を主 ルフ退である

で頻城六萬七千三百七十一即に直 東村 學到江に沿上所外門村 別語語の近にある原則な規制の ゴルフ場

調を中心とする妖財一僧で内地人

洞山砧外府邱大 大 業 產

慶

い総節住民のため大正十四年七

府留ブール

生前に設置し、四五二時大の

、なは前では簡単住民小響望に

の電子の地上総要なに単版七十世一の電子の地上総要なに単版七十世一 部は密通に強んで石榴を引

長所 候测邱大 郎 和 村

く、配も公共事業のために基脈を 動の飲り悩みの勢力によるもの努

**这、未要些期間型、複雜問題或** 

東三千側、毎年三千圓余をもの問責が

一ヶ年の閲覧 あり騒害

郡

大印銀行場影響迎動の中央流路等

達

明で南旭市と東北町の二ヶ時に 別で南旭市と東北町の二ヶ時に 大正十一年郎俊五萬

城

**梅番六三目丁二町城西府邱大** 社會式株盡無陽朝

|出の調件に盛々の豊を売け、明治||中島南京県の一大飯蔵者として誕生で刊生年人月六日下麓県田麓||七世行熊年建にその功徳ひられて

からざる苦心を重ね御來意々と

曹華台川市二位八首都此長、曹華一五位大百世を開立地長に聖は、

助

即ち教育の普及に、文化の向上に、産業の修選に、交通の整備に、 に遊過せるにも拗らず魔北の遊戯の伸擬に模めて著しきものあり、推翻は魔は東年をす聞ること四年、その間数回に亘り未替着の災禍

その間要回に重り未香有の災機

産業部門の

統制

、資債の整理達成を重點として、適切 、登騰の合理化を図り、三目標( 、農廠の合理化を図り、三目標( 、農廠の合理化を図り、三目標( 、農廠の位理化を図り、三目標( 、農廠の位理を図り、三目標(

半時に京紀の功労者にして肥北

決するところあつて遊鮮し、大明十九年東大法科を卒業、同州八年

一はるるに至ったのであるが、その

間以界方面への協力資配も形態か

公徽方面では大昭民職議長、隠北らず、現在画工蔵行の原取である

社會

施

彭

ぞえず西で駅の超級に努力し、ま

た地方建設運動機場としての大印 理事**题、認致、夏歌法院、**步兵第

かある、保虹一ケ年の数上高はかあある、保虹一ケ年の数上高は一円間の日かに七十二郎の周月店舗 大正九年軍門町に開

農山漁村の振興に、格弦の過步を顕現し来りつくあるのである

んとする程序的事業を批価されてある。既中縣山西石泉東面輸は、たとする程序的事業を記述の伸近性に計劃し、民交将来の一大命職を的採づけか、現に昭和十二年度に於ては一千七十二萬條田の窓大なる大電算が、現に昭和十 での能も遠大なる全別館の更生大計器なるを以て、全面的電人的財

共、間、組合の組織、提出的は場所建物の根本のおより資料が多にして農業史生計量等行の第字を発して農業史生計量等行の第字を対したり資質研究を同じず、更生的著仕まる全體に更生計量を向し、之際計劃などをして大力のである。以ては、大力のでは、対して大力のでは、大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力のでは、対して大力を対して大力を対して大力を対して大力を対して大力を対して大力を対して大力を対している。

社會資合原杉

八部門にわたる

事業何れも成功

できばり合理的計量を基礎として農業自働に更生の信念を 密型に到待するを堕し、殊に本事業等は個々の農家に関し 校教育實際化 せしむるには是非非解染ある。 大性教育實際化 せしむるには是非非解染ある。

社會資合刷印邱大

邸

末班梁黎協會 盤 龍

> H 証 餇 岡 虔 附 古 岡 組

大 邱 旅 館 組

興 話

映

Иŧ

醸造場 栗 若 松 商

造報 巌 期國 棟 居 酒

邸

北 秦 道 會 議 桼

てまるなと者以住
に前卵北南を消削原年八十二治期)年四百五 展開羽孝で經を開題命後のそ、し届と際火均康に代時襲新音 地域
突測は者に移程後間満日年七十二常で年六十二治期はかたし住移て砂却の人地内、たい国を行配と破壊。 かみ
正規、たし出と音が人上でし地派に朝路に無い中に承じの逆域を原やも地が夜橋端日年七十三初 ノル関
精祠とも十備資を改修で、全に年三正大、人殿を臨時理年二十四からかると園に四国、き号を興時理が大学大十
るまで第三的は中人地内の任政、たし夏を國史消費に

廳府邱大は下・廳道北尙慶は上眞寫

**大邱府會副議長** 昌 田 官

大风

ጤ

赈

Di

大 邱 府

長合組副合組物果北慶

要

野 大 **農**野

所引取榖米邱大

部支道北尚慶會合 合組融金各

水除は一隻以上の潜水線、腸逐

運動を行ぶのです、こゝで、ちよ 職は三隻以上の脳逐艦、から 艦、航空職隊は航空協艦と組織

極難な組儡の下に、それが「艦隊

選者の言葉

海軍で用ひる軍艦といる言葉であ

と述べておかねばないねことは

万規に従つて、 戦艦、 漁洋艦、 ります、海軍では、艦船令とい

獻、水上提化艦、溜水旺艦

思ふ。子供にもよく解るもので、

進日本を単数し、歌つてゐる間に、

鉄に歌へるものが理話。 紫が合唱するやらな明明なものが欲し祭に敬へるものが理想である。 是非公民に敬へるものが理想である。 是非公民に敬へるものが理想である。 是非公民に敬へるものが理想である。

るやうな歌が欲しい。 図ち、大楽で感でも、そして、何時までも/ was

までの数字をつけた時間のやうな 國の上部の邊りに国破に1から10 をつけてごらんなさい、前橋の主 の簒嘆をごらんになる時、上く宴

一人の一日のラギオ

出します、戦艦の中の新式なもの のやうな形をした機械の針が動き イン・マストンにつけてある時間

で獨占映版化を変定してゐるで獨占映版化を変定してゐるには語上藏沒客初からPCLこれは語上藏沒客初からPCL

百位を委任し、これに使つて歌劇にてゐますが、長針は干位、短針は 時訛のやうな針が難く仕掛になつ ものが目につきませる、そして、

大陸三〇分章語園(大)大 一大陸三〇分章語園(大)大 一大陸三〇分子デエ風受信) 八時二〇分子デエ風受信) 八時二〇分子デエ風受信 八時二〇分子デエ風受信 一川田行廣園東デカ中華 一川田行廣園東デカ中華 一川田行廣園東デカ中華

鹽原時三郎

自らこれについて歌ふといふやうな

の十組を軍職と呼んで

の集まり、水電磁線は癌速艦と軍職隊といふのは、二隻以上の軍艦

際、驅逐隊などが加はります

て作曲の上、レコードとし一般に普及徹底を騙っ、入選作品中の適當なるものは我倒一端作曲家に依案し

八月三十一日

宛名

池 崔鹽 原 田

> せと、は皆様ごぞんじの器であり この一颗に征り各貫一整態航等力機付いれて2億階第「全國の判験

キロに殆ど近いものです 特急の無々の最高速力一時間七日 です、扇面鑑り出ったどは一 むといふのは、全く悪くべき、

書ニュー

三八ノットですから、東海道線群

脊髄脈がいろいろの運動をはじめ

ると、その中の主力産の削橋(メ

禁事報酬と誕はれた『地奈』は 氏が中央公論に發表して近来の 氏が中央公論に發表して近来の

さて、範囲状態に入ると、健盛の

いれます、日本海の大震戦に於て ストには、色々の信髪網が場け 整部を表します。 また、 糖内にあ一 の上申板にあるものは、直立下動 単端の上げ下しには、 概要は

すい、一会の経済を設っては一時間

3ものも三数を代しを聞いただり )要数をもって、軍艦所に関して

壁に遊ぶ今日、あの大きなものが

身質に悪い影響を観べまごか。 東日チロ、不衡生な思節で行の

よって服災を起したり、また比対病なとが大切です。まうしないと汚水中の微とが大切です。まうしないと汚水中の微微では、清水で服、及び金身をよく泥機です道でようことが失切です。

り、また皮は気なと無染

消化を助け、食物中で物質も含まれて

関なのは風邪やお腹

、榮養

のですが、寒くなつたり度わしりしてし、我◆水砂時間は大鷺十分から半時間程度が買しい

として最も重要な ですが、 で発動りですが、

てして、皆轄の代別のビタミンは高いビタミンは高

に身體を治水になっ

せます。

ニノットの弾力で浪を観つて進 比して、離艦の大きさが大 シャでありましたかい

二等(48)金工百圓也一等(48)金工百圓也

作品の版数は京城日報社に属す

概能作品は一

切り知せず

**潜水戦隊、航空戦隊、それに潜水** 

呼飛がつけられます) 水雷戦隊、

命されます、各種隊は大器とんな

には、第三艦隊でも司令長官が保

但し、今回の事態の如き場合

既(これに第一、第一といふ風に 組織に成るものかといひますと戦

> を残る所以であります。歌論は曹通撃 役別領にも充分理解され、國民歌として蹇離し続きものでありたいと選びます。 の正しい意志と、永遠の便能とを、叙世界の人々をして鑑賞せしめずには潜かないでありませら。こゝに置く「異戯義教」の正しい意志と、永遠の供能が、発展取一眼の大合璧となり、その謎とたる迹容と、妙えよる総體の発和が、やがて日本前幽この学感・学士の経覚の発和が、やがて日本前幽 **治療室、撤週興隆の麩蔵と共に、國民全體が、一人族らず合唱するに相應しい「國民政歌」がなくてはなりません。そして**

選者

京城帝國大學總長

| 一般などのでは、第一線球、

「職職、伍」、海豚の脂帯で、

概念者に供しませら

魔跡たる歯鼠検整備と、緊張した歯景能労働、モーて、モれがただ日本歯鼠であるが放い繰りと感謝の減心、モれは、唯力のへ高められて行くことは、絨に寒さべきことであります。この我々の胸の縁から躱り上つて来る、押 ハても押 小切れない圏来が、その偉大な測能を腹けた一大試験に富重し、歯鼠の、微に発生器の人々の鬼が、1 賞に餓餓されて、唯一つい半高なも

正義の意氣と情熱を讃

**文字であり、髭も巧な言葉でなければなりません。歴史の上に興隆する新ししい世代は、常に新らしい詩歌によつて先穢さ おて一直照開な順刃を確し進めつ、あります。その日本園賦たるの続り、その日本園賦たるの祭光、その日本園賦たるの祭光、との日本園賦たるのでのます。今や日本は東洋史上に一世代を制すべき聖楽に邁逝し、絵園賦は日本職を愛園の繋攬と、巌離な日本寺蔵に絵** 

く重ましい隠民の合唱となつて、高らかに歌び出されないで居られませうか。その合唱こそ、その歌詞こそ、最も楽しい

腰閉してゐます、そこで、この歌 警回れも職吏に残る勇壮な場面を

わが艦隊の力强い活動

**婦人のための海軍の知識を述べて** 

率する職合機隊司令長官がをりま

艦隊には司令国がをり、

んます

|か、離軍の級話した他に向つて、|合はつまり能闘戦節から能闘状態||のでは極るかしです、ここでまづ||水半線の復方に離戯能が現れたと||攻撃を別電するとか、さういる器||は、大殿を行つのに震聴にあつた

〇〇さへ出来なかつた。

てみた。

雅でてあたが、〇〇はおろか、「見える日には、ボイムの跳が登っ」は、〇〇〇〇〇を振倒の〇〇であるたが、〇〇はおろか、「見える日には、ボイムの跳が登っ」は、〇〇〇〇〇を振倒の〇〇であるため、ことではあらが、その女といふの

たちは、その女を何 〇の用る夜もあつた。〇の消え あく、しかし、あとでわかった

の方に向けるのだつたが、女は、

ニクコリ笑ふばかりで、なか!

むやうに〇〇した。 「何と〇〇を駅」 済まないと思ふ。

底になると、誰も一層に〇〇を女

たため、〇〇十〇〇 き〇〇が好きであつ。 その女は、生れつ 女と00

00したかつた。

全日本の行進曲に適す

國民讚歌。を募集

上海の地名の詩。み方

日本讀みと支那讀みを混用

平腹名は日本語みで

してみます、片酸名は『支那顧み』 左に曹通につかはれてゐる意み方を記 ろ!しあつて不便な向きもあるでせら 感させてるまでが、地名の題み方がい 晋 毎日の新聞紙上に出て全國団を設定に於ける皇軍の鄭政な働きはこの

楊 樹 浦(ヤンジツブ) 庭高塔路(スコツトロ) 遅 胚 路(でんこうろ) 電 工 路(でんこうろ)

丁 興 里(ていこうり)徐家滙路(じよかわいろ)

虬 江 路(キウカンロ)大 馬 路(ダマロ)

とが出来たが、その時、その女は「とておば、蛇者等」その人たちにも明けて、〇〇の〇〇〇〇〇〇十分と「全意演しながら離んだ人があつた 間後の闘係も何も考へずに、出路 何故かといつて、能者は、たい らで、敗良の保地はないやらに思いれて矮小なのは、人種が違ふな 皆は、日本人の豊格が欧米人に

を取良の除腹なしとして放つておといふ事がやかましくなり、これ 國民體位の低下

過労が

阿因で起る

目に、漫然と、こんなものを書い

て見たのに過ぎないからる

殿も驅露の深い主体物――即も自一般会學の方面から、我々の生活に 日本人の豊格の劣勢な理由を、 (きでないといる事になりま 一部が自

てこの鉄路を棚へば、郷南を上 まさんしの鉄路を棚へば、郷南を にし、ある態度までは職務を立派 郷市を出見

艦級艇が水上に下された場合にも | 定める土間が乗り込んで居ます

用ひられますから、大小雅々の軍

ば肥っと取扱いなければなしず、

10 30 2

騰久は情難兵の奏する『君ケ代』 | て強声。豊穣に前題するのは撥水整

戦闘に行はおまず、そして日後に「されら降災なとは」

能つて、軍艦隊場場が、い

テラーや最近旅行す、以海軍の機能と群

には世夜の那なく場けられます、 よっことになってみますが、唯行

こい。東方を持つてる

水泳のご 肉體を最端でいた。

脱則としては、午前八時に、崔業 艦艇が備、これでんます

が、うちっこもこに小散隊をなり 威量性々全艦隊は助き出しました

権勇を作って進むのは主

力能です

病氣のいろ

ます(それに多く優橋の中観とさ)違つて一本(け腸はなものではな」ころに鑑良が記憶つて苦り、そりはマスト(戯儀)の中島に移され「来すまい、崔耀族は健康の重歓と「申しますと、主題の上部に登るとはマスト(戯儀)

というの一く代りが備いてあります。それと

上の高い所に信職兵が匿り、標底

れ、更にその上の

いふのも、軍艦師は施行中南風に一度が備へつ

いたみ弱いので、いたの一高い所に、微粒との距離を討つた

に入るわけですが、橋尾の堆檐駅 | 無場底について鑢っなければなり | 橋はどんな工会に用ひしれるかと

1、 コは素に利用されるために から れでスポリカはになるとった。 れでスポリカはになりません。それが その結果 、 ト B が不足し多く、 での結果 、 小 R 2 は、どうしています。 ででも職業を結集するに関する。 ですい、 はた会

▶<br />
それを防ぐ榮養上の注意

ス上艦

への體格は一

大きく成れる 體位の低下する原因 體 精 カ の

ع

すと、脚気や腎腸病がですから、これを含

脚気や胃心病が

か?

このピタミン8の播取が不定す であります。 はほとんど含まれてみないふと 関節になると いぶのは一番る等の 抵抗力を減退で 増 進

にもなりますが、それは外に雷峰」の理能を続けてある大きな観覚は、前の考へ方で、今日では勿論関点。まりかが顕氏の健康を悪ひ、機格である。 世界になると、世界になると、世界になると、一般家になると、一般家になると、一般家になると、一般家になると、一般家になるというのである。

一發育を障碍す

3

要覆を不良にし、 法

の 路も除かれ、疑惑も光質して、軽いされて居りますので、白米食の起酶の機能を强める流酵薬やも組織 育足士、韓国軍化に著名 とれて居りますので、 他にも仮白質中の、リ リヂン、ヒス すが、尚その が説がれ、遊 ン等のア

こでのも行う

くてはなりませんが、それには近ばタミンBの細へる方法と驚しないて、それでも希先に 盛にしておいて、それでも希先に 簡單で低 な

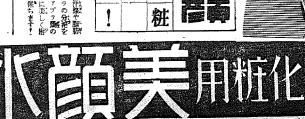
といふ特別の家用徴生。 見されました。それは 見されました。それは

わかもと でありまぐ 製剤したのが、近境 容高い『硫形

成名となる。 生物で、これ を多数の数を出いて、これ をの数がもし で、これ 変数の数を出いる。

圖 第一等!

き、お优歌がとても扱く保ちます!を、お优歌が出ますから、どんなアブラ風の歌歌しますから、どんなアブラ騒の歌歌しますから、どんなアブラ騒の歌をいきしめ、河やアブラ風の歌を成分の作用で卍峻や影響 第 F Ø) VZ 16 等 化 1



は形ましてかったがありますからに対すことがあります。ない意味から、質疑を強硬する「経験が多い感でした。

化が西によく、武金樹なども活躍を辿などでに書渡の河道の優勝をひきあいのです。 特に、世級が帰りまりを使い、世級が帰りました参照するとで、世級が帰りました参照すると、世級が帰りた。

されるのであります。 変神経の軸方値か、 変神経の軸方値か、 変神を動力。 変神を動力。

物泉が及ぼさ





・ 対に現代、東京の が、1、全な細 が、1、全な細 が、その細 が、こくする







解そ

ればとてくないです。

置、散、磨泉型、家ダニ共間産 しても大へんようしいので、こ の寒を御家庭に一度お願へにな 虫でカユい時にお用ひになりま

**毒虫でカユい時 蚤蚊南京虫等の** 

入浴後や洗剤後等にお用ひになれば質に実使で、ニキビ吹出動 ります。

美容築としても

1

ますので大声戦の楽です エキビ映出物に非常によくかき

E 出 ゼ 0 物 樂 L



でもと傾向の最次に両とかは、表すると傾向の最次に両とかは、表

お答は、わしが一人で呼ばつて立ち合は、お上大様は後日の一

つと仰有つたさうです」

『早く申せばさらでご座います』助けて遊がす事もやねえか』

宇都暦へ寄つた度に鬼器川が流れ川は五行川といひますが、ずクとすこし逸ふお話です。この近くの るます、その、倫毘この邊の方

「捕り物には進ひないでせるが、 一般気ながら、さらなのでご配い

ではずい道ン出す?さらすると、 でおびい道ン出すのださらです』 ではずい道いはすのださらです』 のうちに孝法に郷坊さんをかける。 て態度の始末をつけるお心ださら 「へええ、件のある坊さんがあつ それで、それツ切りじ

『良くねる軍が交一タか、えて、「機械のくる前に、おきの法によつなることかも知れませんが……」」ご路いますが、お上人様は、その

仄かに情熱の息吹きをさへ既予 クライバー獨特の姿現とテレフ

村書説解・ムベルア産美 校二、留吋二十 **園 六** 

侵割たる生彩の種に真調点ひ

B

娀

「中歌ざらに、あんな連中に雅は と、日がどうしても三日はかかる、 も大野が家の中へ引起してくる かに変す、本人だけ先へ後してく を大野が家の中へ引起してくる かに変す、本人だけ先へ後してく を大野が家の中へ引起してくる かに変す、本人だけ先へ後してく を大野が家の中へ引起してくる かに変す、本人だけ先へ後してく を大野が家の中へ引起してくる から、悪情に後 きは今中つてみるから、悪情に後 するたかの如く取いた。

日本で始めて出た

「カルメン」組曲ノ

次郎に質糊して、往來に起て、火焚傷にゐたかみさん お をなと呼んであるのださらでご野 をなと呼んであるのださらでご野 さらいる手続きでしろ、から即有いますの跳散を引渡せといふなら る。成がその手取きとやらをやる

「おとりさん、どう吹つたい切っ 上人様が呼がったは、鑑賞を 1 本はにはよく贈りませんが、おったは云つてはやちは表へ出 から?」 「西共にはよく贈りませんが、おって目るのでこさいます」 「鑑賞したれだれ」」

18491



やつて困るのでございますしれて、けさッかい歌込みとや

長谷川

岩田寧太限書



肉の

香



邦人技師、苦心研究の特製品 て經濟、一罐五人分は充分あり ぎつしり詰めてありますから極め 豊 生 ルグアイ國立罐詰工 場て界の牧場と言はれる 南米 かな最高 本館 級品 Ø 味と

社會式 核变版 群的 品氨聚森



脚氣の原因を除き去るもの

たるが故に、治療及難防の

效果共K顯著的確なり

メ容美の夏☆

を軽くはたいて置きますと、アセモは勿論、 み前にウテナデルミノールか、ウテナコールドでマ れ弱く、及アセモが飾く溜らぬものです。毎晩お寝 んでお肌を收敛し、最後に特種製法のウテナ粉白粉 ツサージなさり、後にはウテナ化粧水をよく擦りて 夏は汗や脂らの分泌が烈しい處へ陽十ケで肌は荒

ムーリクデーナテク



最も近代的な色調― 肌色・濃肌色・健康 オークル一號・オークル二號 白 色・ブル ン・ナチュレル

正價 五五セン・三〇セ

殊の自粉でなければ、明朗なも仕上げとはな 化粧には、原料も製造法も從來とは幾つた特 の種です。特に汗・脂らに崩れ易い此頃のお イに見へてもお肌をアラすからこれ又、心配

りません。必ずウテナ粉白粉ので使用を

特に强調してお飲めする滞です。

店 商 吉 政 保 久 社會式味 舗本料粧化ナテウ 京東

その整肌力が如何に驚くべきものかは、陽 シングにして始めて解る大きな効果です!

グ・肌アレの夏に特によく肯けます!

自物にしても普通の自物では表面だけキレ

宿主子禮見北トデヒサフヤハ ≘館 央中端点:





二十四日より三日間 □ 並 戀 の 一 夜 17,30 3,00.6,40 北 支 事變ニユース 1,00 4,20 8,10 日活國境の風雲 1,10 4,30 8,20 断側 さむらひり 各席全部二十錢均一 原 全 黄鹤 (1987年)

128-41

明朗なお化

はれます!生なましな原料油や、二三流のク

健康なる肌はウテナバニシングで完全に養

美しい健康肌を保つ譯にはゆきません ...... リームでは一時凌ぎの役には立ても、 芯から

國産クリーム中第一等の稱あるウテナバニ

二十六日より――二十九日まで――四日間 **リタ 立銀 五郎** 取取好太郎 久松三津校主派 2,讀賣ニユース

3°女醫絹代先生。田中鍋代 佐分利信主版 ○大采席三○銭小9生—○鎖 OffH近午より三回入替なし 2000年館龍京2000



w Φ マネキ 竹松 Φ 26・27日時間後(名郡短期期間)2日間 野期間) 2 日間 11,30 3,00 7,00 11,42 3,12 7,12 1,03 4,33 8,33 朝 日 ニ ユ ー ス 11,30 3,00 7,00 テンブルの燈台守 11,42 3,12 7,12 京日ニュース 淑女は何を忘れたか 1,20 4,50 8,50 新女は何を思れたが 1,20 4,50 8,50 g



(3) 日活日活日活日活日活日活日(3) 八月17日日 - 「八月日在日間 本金文人の戦争 朝日世界ニュース 朝日北文事獎ニュス 日月と共に日語が京ナンドレー 明日北文学学一人 日月 と共 に日語東京ナンバレード 属珠頭飾 ※証料ドクーバー・デトクラとも演 修 報 山 彦 後瀬千瀬登主演 〇正午町11時30分より連載入替なし 日活日活日 舘 楽 喜 日活日活日

(H-1-1-1) 传文分a 收文:高片//// を引いている。 をしる。 を 

共事[分]

さいといふので、今までの子分を

供が出来ません、私は買いけれど

一のだいやうにして、全くお窓に歴 蝶 『モウ肌関といっちゃていけた」と、 脱分で子分にたどといふ中 「既ひますが」 のだいやうにして、全くお窓に歴 蝶 『モウ肌関といっちゃていけた

| 医とはいけわえが、一遍はヤット | もお前も若い身間。俺だって老者とやうな事が萬一あつたらは、!! 納 『ア、いくらも結復だ、けれど。 とり おり でんしょう はいますまいか! かそれでモウー目泊つて行って下 京城一田原へ衆『此間時、いたりをしての時味の御用は衆ティ、先命のたりといったのでは、衆ティ、先命のたりといったのでは、またします。」 遊みん、と意思をいたし、どう (乗って、乗知いたしました、お供。 中は云はねえ』 とだからいいかい!! さいます、それでは来や、お助是 蝶『お物理いお話で誠に結構でご いてよったので、此扮装ちやアおかに取りれつとき、着物を既に歴



送呈

世界 (1977) 1977 (

らこの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここので、 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここの姿に樹 ここのったか。 ここのったが、 ここのでが、 このでがでが、 このでがでが、 このでがでが、 このでが、 このでがでが、 にのでがでが、 にのでがでがでがでが、 にのでがでが、 にのでがでが、 にのでがでが

王を持てといふんだ。

蝶一頭くはも育ひませんが、整葉

| とか、さらいふ事を開けば、俺は | ふ大きな旅涌屋の所へ線に行つて

持つたとか、新らいふ人が出来た。が甲府の柳町に、柳屋佐兵衛とい

」切れるものだ、お町が此度学主を「繋『それでは元精、私の学生の妹にねえけれども、併し悪いことは「は田立をしよう」

| 「「キット持ちません」

勘『ア、宜い心様だ、既ては膨長

腹筋「キット持たねえか」

来なれ!

持もません」

だち

かんご

お蝶堅氣となる (96)

の位置に続いを立てく二度の長は「気が削いたら、キット手動も職績・「様子イエ、生事私は天吉田屋大吉」で改る任と結構な事はねえ、さら 御五郎の動書に、お蝶は首をふ **神田伯治演** 多か 藤井耕・金

蝶『元統、是は怪気になりたいと 動『柔や、宜い心掛だ、人は堅実 動『柔や、宜い心掛だ、人は堅実

著音器シコド

ラデオと楽器

長期月賦の店

Ě

魯

1

集

(全七卷完結)

経過子の文法の文法

科用代

鏡華萬の情事潮潚く動

北平二王化一二事件 前州の 河田 大 を 新満州の治療とゲーム 支那幅楽者な、それが、大変を表して、大変を表して、大変を表して、 35

| 大学 東京 | 三五番 制度の活用・決算及びにせばよいか・勘定科 池田 手の 裔 固 太郎 著 個八十錢送九錢 于リ 泊吉 & 兒 介之三味。

往後書簡

和歌の流派様式一問論義悪

明るい方へ目を向ける。頭がすわらない。

大・月

燕本治

母乳代用には

【体 童」男

七十八七五〇二十〇四〇百)

てあそぶ。

中央 第二〇一六〇五 一回歴 三〇一五〇五 一回歴 三〇一五〇五 一回歴 一回歴

3 白牛 ロ ン満乳

嬰計、野菜スープ等を與へる 三〇五十四章(一日五回一三〇五)

報務 部省

波

多

野

乾

耆

**場判五六二頁** 最新刊發賣

选定 料 同

十八路路

笑ひはじめる。 耳が聞えるやうになる。 動くものを見て喜ぶ。

雌が生える。 わが出来る。 寝返

A

準 器 値 乳

安 七·三五年(一·九五五夏)男 七·九四年(二·一二夏)

母乳代館にほ

中央 二〇五 | 回豊(一田

果汁、野楽スープ

【体 整】

(体 重)

大ジィド 大日本歌人協會編 造 風。 龍。 わきき の眞實の姿を見よ F, 性靈 Х が重量 招 定價四十錢 ŀ 路 员 十姓院 第十时國川國內

送科六銭

还科人錢

£

ロレンスの数多い作品の中、無の を表示した。マウェートと既保の不可なの。 「なの唯一」の自然の作のの。 ではので、一つ自然のためで。 なのを作ったが設とはこれを言いながらり。 なのをで、一つ自然のためである。 はので、一つ自然のためである。 はので、一つ自然のためである。 はので、一つ自然のためである。 はので、一つ自然のためで、 でので、一つ自然ので、 にいないで、 にいない

話

第一日本献人帰營一か会然附組され今年新たに成立 と大日本歌人帰營一か会然附組され今年新たに成立 と大日本歌人場督是初の一年刊献集』である。会 教理各談の大家中室を制御した堂々よら風がれてあ り、また大日本歌人協督として初めてその職場かせ り、また大日本歌人協督として初めてその職場かせ り、また大日本歌人協督として初めてその職場かせ り、また大日本歌人協督として初めてその職場かせ り、また大日本歌人協督として初めてその職場かせ し、荷くも短歌に願いを有つ者は是非とも一本を重 古に帰るべき一大歌集。 村 四日和十一年歌院生性観 新 昭和十二年度版出づ!! 设元 STATES! 1 The second 清

載な漢實と、人の胸を打つ心境の流露とが溢れて ツイドにありては日記は罪なる母語推記のメルを持 けた日記部に盛られた彼の思思なり感覚なりと韓国 ではなく、一個の文學であり、創作である。それに へなさんとしてゐるか? ジイドの最近の思想を知 んとする人々は是非共一九三二年から最近までの 쮗 豲 좱 

安 五·六一瓩(二·四九二貫) 另 五·九七瓩(二·四九二貫)

母乳代用二位

0白牛 0 ン番乳

泣けば涙が出る。 きらとする。

日記を収めた此の新日記がは過まなければならぬ。

敢て日本の意然界にすすた。

譯

とせば先づ を認識せん 本書を讀め 支那の現實 I J 真の変を把握し認識せんとせば先で本書やら始めねばならぬ支那通にして研究家、日頃の抱負を披掘して、現實支那の政治と人物を除す所なく批判解剖した。愈々動かんとする支那のと人物を除す所なく批判解剖した。愈々動かんとする支那の政治機構の實體は何庭にある?所謂要人と云れる政治、なの法の國支那に注がれる。支那四億の民衆を動か支那とは何ぞ? 日支事變を中心として全世界の環視は今や支那とは何ぞ? 日支事變を中心として全世界の環視は今や 0) 北支部局別の海崎と野内に対する。

母乳代用には

0 白牛 ロ ン湯乳

安 四·九二瓩〇一三〇九賞) 男 五·二一琨〇一三八六賞)

品 養年 夏 本 人 香 野 野 回 保婦の乳…岡本松濱宇夏接心…吉田冬蓋上高地行…嶋田男輝皇 花…云定巨日 送料一雙五厘 Īķ 近 短 あ夏獨夏南伯 居山九州

··· 館 水 康 文 

**松村 | 倒五凰** 

目丁七橋新區芝市京東

女 六·七〇瓩(1·七八二賞) 男 七·二七瓩(1·七八二賞)

母乳代用には

県計、野楽スープ等を爽へる 中 第 四〇寅 | 四量(日 m

二〇天) 一回是(「日五國)

製造元 大阪市第七五 大石 製 競 株式 會社 登齊元 大阪市道林町 解除 武田長兵衛商店

体鑑

**聲を出して笑ふの倍位になる。** 手でつかむ。 女 六十二五元(一十六三六男)六十六六元六(十七七) 母乳代用には 体型 o 白牛 o ン湯乳 五月月 近〇 九〇〇 民莊英

生つて歩く。 ものにつか をこはす 母乳代用には 果計、糖、野菜カラゴシ等を與べる・二三瓦}一個景(二日五回) Ē 1 : 1 

でンロロと乳牛

安 七·元七元(二・二四百首) 男八・四四元(二・二四五首)

母製代用には

単計、野楽:「ア夢を典へる ・ 三重」 ○ 回量(・日:

する。 ちをする。 うをする。、

D

東京 見糖ロロンは、洗水の 本乳の不見とた原養分を含み且 の本乳の液化をよくしますか ち、本乳にロンを加いますか たは日めて単分のな、母乳代 をは日のである。 をは日のである。 を表して、 をまして、 をもて、 をも、 をも、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 を を加へなければなりません。 の鉄点を補正する家川料 牛乳にはせひ ロロンを加へる事

言をしやべる。 人のまねして片 選ひはじめる。 安 七·六九章(二・○四十男 八・二二章,二・一八十 [神 璽] 母乳代用には 果汁、野菜スープ等を良へる牛 乳 一八〇萬) 国産(一日 〇四六賞) į, 6,

もとくなが乳お

小 5 やんかん工作表で育て 光ですが、牛乳は母乳にくられて、奈婆分が足りず、消化 さ悪いものです。 不良になって体質が起さず、 やんを育てますと、 集美 祖色と無くなり、智勝も舞つ 経費が良いてきます。

牛乳だけでは駄目 乳の代用に  前をいる。 歩き出す。 おっち Q Y

紀候する。 人々を 女 八・四七元〇十三七三賞) た奥へる ス・九二元〇十三七三賞) 架カラゴシが男 八・九二元〇十三七三賞) 架カラゴシが 本党 八〇英) 阿温 一一三流 (近回) 母與代用二百

立ちする。

MJ)

中 乳 添加料 一種の含水炭素を三底かと、 長青上重異なアミノ酸、機酸カルショ、 一種の含水炭素を主成分とこと。 という はいいい かんかん 最新の利息条菱墨に基いて、 五〇〇瓦入 一國五〇級

育兒糖

A37- 10(P)

帶の高地を占領、目下潰走せる敵を急追中である、なほ正午までに判明した我が方の死 平頂山一帯の高地占領 精鋭は二十五日 能九時十五分平頂山 「長幸店二十五日同盟」我が〇〇部隊の

変通省は二十四日午後、上海のド 【上海二十五日同盟】日支開護以

川口氏遂に落命

手掛りたきため捜査困難を極めて

乏 捌がりつ いある 今朝再び際を確かり た問風に掘られて火勢もの凄く燃 更に邦人引揚げ

折柄公園館

イド展別民五十名は上海香港中の 【ベルリン二十四日同盟】ドイニ ドイツ人避難

**平綏沿線を爆撃** 

【張北二十五日同盟至急報】關東軍諸部隊は二十四日夜半張家口を

一た日本軍の優秀性に多大の避難を一旋しつへあり、同食軍には船では 新らしい感で情報を削造したもの 「高船浦東倉庫は一時頭火したが、新らしい感で情報を削造したもの「高船浦東倉庫は一時頭火したちる、前往日清明を削して日本車の成功に世界に、前兵の校火と見られる。前往日清明を削り、一番の大きの大きのでは、一番の大きの大きのできる。

**逆中、彼我の砲聲平綏線一帶に物凄く、日本軍の意氣正に軒昂目下殘兵掃蕩中である、その他第一線部隊は逃走敵軍を南方** 

に急追中、

我の砲撃平綏線に轟き

皇軍の意氣は正に軒昂

張家口を占領

Ħ

章旗

へんぽんと飜る

簡単官邸で時局出版認識の結果、 り頭に遠留者の大量引揚を行ふの三官級に二十五日午後二時から畿 徐名を取へるのみだ、右勧告によ

北支及び上海方面に於ける時間機一で認節事館は、陸海軍、新聞記書 野遊するやも適られ四今日、一後まで踏っ止まる跳である 何時如何なる所に彼及し不祥。その他複戲側の少数在留那人が最

五日午後四時左の軍営を配した

度四十四分より北韓二十三度十四分東時より北韓三十二度四分東海首二十一本官は昭和十二年八月二十五日午後六本官は昭和十二年八月二十五日午後六

な百十六度四十八分に至ら中華民國沿岸を本官の指揮下に駆 する海軍力を以つて中華民國統に對して親てその幼力を有す できずる。本護職は中華民國統に對して親てその幼力を有す く、 第三国職女活動権助任、第 町和十二年八月二十五日

「上海廿五日同盟主急戰」第三戰隊司令長官長谷川中數(二十

の敵を撃滅

【南島二十五日同盟】外陸作出先 |名を敷へ、疑習者は現在節か四千 總領事舘より通達す

支那公私船を遮断

長谷川司令官の宣言

大量引揚げ

保安陽配方面の酸に爆撃を取行、一

を爆撃、退却中の敵部隊に破一等技が空軍の八面六件の語脈振り

膝に欝翳巌壑(大同東南方六十十○部隊は遠く大同方面と爆撃する」の彫跡において我軍は艦井が尉。 | 訪問の上謁印を行ふ響撃と戦へた、即も○○部 | 膝に撃・戦車の捜査に活躍し、○| 敷を選撃して西方に逃走した。こ| を得たので二十四日夜帰還中央に

を興へた、○○部隊は新 は敵をして顔色なからしめた

大島恒長及び兵二名の貢献者を出

南口占領を

**総と選載、敵仰の後方を撤載して、職の避難を容易ならしめた○○郎 し敵と敬諾した、敵主死輩記器を リス側と所節中のところ、大陸案類に悪天候を動ともせず年収離地 へた、たほ員掲方面を爆戦し○○ が共が○○部隊は○○部隊と協力、長時間又は二十日赤竜に乗りそ前日に用戦き二十五日朝来状が空 の山地方面に進げる敵に爆撃を加 を以って両領た除命援りを示した。する必要に迫られ、寒遊総費制局** | 日間開発が見載1 | ○○部隊は長崎照案ロ、大同以東 | 端の暗然をとり、追撃砲、機関銃、総路速落運輸に對してこれを促進

我空軍の大活躍

空軍の援護下に

〇部隊長驅追擊

尨大な區域を占據

報道班發表 【ワシントン二十四日同盟】 ワシ

駐米英大使 歸國の途へ

受け我が攻撃に算を置して敗走した、この策闘に敵は多大の揮電を北に駆迫し総大なる原城を占護し 〇〇院の経験の下に前面の敵を西 15/8/41 一批市 って実施午後四時頃一先づ食定職「上海二十五日同盟」第〇修職報か、我が芝北部職は選定の敵を選「上海二十五日同盟」第〇修職報 五日正子東部第一線を占置、 占場家宅一帶 如く習足立つてゐる、なほ本日の

【上海二十五日同盟】芝北部隊は | に既に苦しく酢憩を失べるものゝ | に燃焼中なり 壁職隊方面の鉄辺

【ローマー十四日同盟】國民政府

アジアへ

ニー氏は既に任務を終了日下歸國 べた鍛文を寄稿、最近の豊穣を基 の途にあるが、二十四日スタムパ

壯烈なる空中戦

背相園公訪問時局重大化で

# 果敢な肉彈戦を敢行

焰を吹いて墜落、残り一機に對し果敢な空中肉彈戦を敢行中 【上海廿五日同盟至急報】二十 **『上海二十五日同盟至急報』院機を好客された支那機は開北上宮に向つて選走、我が優は荒囂の如く流祭これを追蹤申** 一機を我が海軍機一機が追跡、中部小學校附近上空に於て壯烈な空中戰を演じ、敵一機は 五日午後五時二十五分(日本時間)上海上空に現はれた敵空軍 「東京電話」近衛首用位組織以来 「東京電話」近衛首用位組織以来 のだ局方のでした。 原門を創造してるだが、北支部 が最近の際によって與に緊迫の低 のだ局方の際によって與に緊迫の低 を担し、計画計外とみに順大化し上海 のだ局方の際によって與に緊迫の低 を担じてなたが、北支部域

上海の我直接損害は 二千萬元を下らず

度は邪感前の上高事機とは治験に「流航策即摩の機能に置つたものを「敵令象徴、護却「医歴の職出、顧言」へみ投資と二十四日新聞記者とのけに、今回の事態による視聴の態、背壁の修用、機磨、大節艇、大連」でに置み、前線部域にある民士の「も今のところ何れよりも図像なくけに、像職及び昭離が集中されただ。上市、その修御集にある。繋帆、商」が淡天文脈側にが様になりついる「迷惑を嫌つてるる機能である、尤」 へたかった楊樹雄丁嘉地帯對岸浦「抵牧を入れると数百盃元の巨部に」を源布した、名は日支能戦を局面を終に、町上海事・整常時、脈火を交」他接続資命の機能及は耐火による「軍法を採決し職行令と共に即日之 のでは電に莫大なものがある。に消息不明のものが二級より、其の行政監察部に軍政部提出の郵時即へる時は電に莫大なものがある。に消息不明のものが二級より、其の行政監察部に軍政部提出の郵時限が行動を表す。 ならぬほども大で、今までの所能 | 入れると民火による直接損害は艦 | 適用などを防止せんとするもので 四各工場で、爆弾砲弾に見舞はれ \*打磨の大きいのは在華紡羅在上 豆二、三千萬元を下らず、殊に虹 十ケ條より成り、違反者を極地に のとてはなく、或は敵の闘「覇閥により係儀なくされる整衆存」も武官と同院適用を受けることに 1 两只晚晚时近 たちいもあり、總統院 我字爆で火災 止によう間接的破害を概算すら時」たつてある

口方面商店館の披雲、今後長期間一處する難時軍形法であつて、文官

| 日本年代の世界の一部であるが、現場的近に一名の「開催を開発域に通告するところが、 世界のであるが、現場的近に一名の「開催を開発域に通告するところが、 世界のであるが、現場的近に一名の「開催を開発域に通告するところが」 世元成闘より何等の正式具申に指定を表現の状態である。 日報者もたく収入の護衛に通じるを表現の状態である。 日報者もたく収入の護衛におんど、あった 止午我が水上腰の鏖難で南勢地、中、耐丸、手間端等につき目下間(つき、注意ありたしと背面を以て用が水上腰の鏖難で南勢地、中、耐丸、手間端等につき目下間(つき、注意ありたしと背面を以て

武力を行使しても 居留民を保護

英閣議の結果は注目

に願い一切沈黙を守つてゐるが、「ギリス汽船クインメリー號に便楽」飲成は二十五日開かれる壓時觀識 ナルド・リンゼー氏は二十五日イ 能まで強硬に主張する決敵を踏め 人既府は必要の場合は武力を行便。ロンドン監制アメリカ大使ビンガ に勝くられる所によれば、イギリ「定で路園の途につくことになった」 ても支那居留民の保護を行ふと一人氏が二十一日急遽帰國の途につ (ロンドッ廿四日同盟) イギリス | ントン駐割イギリス大使サー 戻、・11年1;18、イギリ「老で帰國の命につくことになつた」「長) 菅住境援のため二十五日本ド通信前の指見道脳の構製とし してニューヨータ出现10ヶ月の寮 | ◆原皮一氏(東拓朝鮮文社母業群 つき英米雨函政府が共同行為に出 「病職々の腹靴を生み、日支節事に 使が二十五日帰國することは時節 は例年の事で、何ら緊急の便能を つる前促ではないかと言はれる、 然説を否定、リンゼー大使の歸國 ・ギリス大使館登局は二十四日右

帶びたものではないと言明した 伊元藏相結論

かたので天谷を計覧にその調を い翻破してからはいつになく明 なの大野域が緩緩→翻時間が てゐたが▲『それは多分お離る際いて見ると、暫く首をひねつ 個の若々しい元とやりテニスを んが出來たか



とは思つて臭れれ、自分でも何だが、この既では誰もお話さん んだかおかしいが 「君、僕もお爺さんになつたよ と如何にも厳しさうにお探さんんだかおかしい気になるとしる (宮眞は大野

雷型

星鄉

ハル長官語る に計議すべき対に面面したので、この深級形の財産外の企業を を地へに対明で解を状める必要を 生し、二十九日少利は民族総列戦 で削減料に向び同日(指接宮ノ下町 出版書と伊衛野・川田に別公を前 が経力の取るべき今後の方戦 、既付の取るべき今後の方戦

> 大衛院、結塔原養所等にて旺んに實用されて居ります ヘバトーゼは日本に於ける代表的肝臓製剤として各地せしめる増加成分が多分にあることは著明な事實です

正に血色素を見る例如

観場所へパトリゼ

· 爱出血炎 出脂果

競手大棚三一覧の二一 綾井近刻木 覧つ○五 りあたこむ 医大 貼鹿邊田 京平

既ては米だ反響に接してゐたい」 定例 質見において 『昨夜の聲明に 社然を続つてある模様である、尤 カ國務長門コーデル・ハル氏は二 【ワシントン廿四日同盟】 アメリ ・監護右避難民に振り置てる筈で として、大路に行ってが尋診質局と赤十字離常局とが しものがあるので 十萬弗が通過したので先つ現地(並結では前ほ朝鮮の道標に即せたある、先週の議會で緊急厚原五)があり、内地で公布されてゐる薩國務省は其體的方法を研究中で)があり、内地で公布されてゐる薩 起く、就我の手用階解決を響点。三日日支側題に関し第二次登明 前つて適識してあるが、内地は産 午後帰京する際定である 產金令

要素質の ( ) 時間 (

に並經神・し進増を懲食

す進昂を力活の胞細體身

京城南大門通稲 村 製 礦 所

+

特に 一般虚弱神身の過勞

新時代の新時代の

變味芳佳

服用容易

ら残留アメリカ人を協動的に引を野軍隊が共同租界に使入した股間に記書版とり

- の職権を開止せしめ實際上に置切を命じ構築使に続きプローカ は以場合に第三番にこの観察観の 楽描信題に設置に取締ることとな せい場合は第二者にこの鍵度観の保持者が一定期間内に事業を開始 始せずともその翻奏観に取上げられた者が指定の期間内に非義を開 慶敬のため山名事が貸も廿四日東事が覧は東上してゐるが、これが つた、即も産金法によると醫禁機 か、産金素の根本と として、大略に内地 れないが、産金令によると職業権 この活規制定のため既に水野 とも見りむる難し 建削としてる

内燃機界/覇王

少僅对絶量暫消科燃光。機他 絕対吳火紙其他準備操作。要認

#¥─九十郡力 至十一大十月五 是一三十四本

人

強錢一小当力馬一間時

製金・在庫豊富

量

祖。大冠市华岛茶园

應體勢を執れ

經濟統制と

餙

総合、朝鮮の諸族業は内地に共立、窓局は関上り十分の開墾あるに担しる。下に資本が総縁講談されるないは、総職の實施にはつては、總督府 に農・芝産である。國家の必然と目職の一も後異さるべき割である。

に建すべき覺悟と発偏の必要があっていが、朝鮮財邪は今よりこれ

體に於いて、一、船駅のBB時管理 問明らかにされてはゐないが、大 職統制に職する法律家を提出する 野時經歷融の第一歩として、各 せよ、その経歴界に及ぼす影響は くである。如何なる程度の統領に 方面に向ひ名づ離動するものと如 田である。その目標及び方法は今 政府は來る臨時議館にいよ 質品統制、三、投資統制の三 重大時局を認識して

郷底による一大消費と共に産業、さへ招來するかも知れず、 節節: からいた同に破み明和八年設体的 対象計量を 明立、型九年計畫の 単度計畫を関立、型九年計畫の 更に最近に於ける極端事情の推 移と別外貿易の情別は同角而花 移をのあるに極み、本所は更に計 全面あるに極み、本所は更に計 全種機能の光質を図っませに 大春種機能の光質を図っませに 本年度月底を図面の相互使進動を といて反落政策で置して一十五斤

提合内地産業及び労働者を保護す は輸出機能品となるべき見込の商 中にあつては直接新興産業にして (年の取扱)ひを生ずる如き事は厳 らずる由であるか、朝鮮にあつて 「顧恩、右に伴ふ配給調整を服日 研くも内鮮の間に經算不

は容易に思願される。併しながら 投資試験に至つては、内地が子

また半島の空を被る際系器林費に

ては昨年の天候組して過剰を得 では、一部の道に於ては試 が趣度見る。さきの無きの人なに らず、殊に一部の道に於ては試 が一部の道に於ては試 が一部の道に於ては試 が一部の道に於ては試 が一部の道に放ては試 が一部の道に放ては試 が一部の道に放ては試 が一部の道に放ては試 が一部の道に放ては試 が一部の道に放てな が一部の道に放てするが のでは、 のでは、

日本プロックに於ける朝鮮の無 業及が化學工業である。現代

對する內地の大資本投下が、時局

協定會議卅一日開催

側は諸物は高を理由とし回至の目

大混亂を呈した

秋山町基協定食職は卅一日午町十

こめで作つたり僅かなお小道を郷二、日本タイプライター京破出張斯ほどお金がありません代りに真心。 断水優一 上氏か 二百種づつ、地町し建にはどつさり螺跡(戦争をする) は際氏町京橋まさどんと水勲音本 

一個村地方のではいけれていましたかり

が、正しいことをするのは纏に「百七十圓」東京河南市町の初めは「寸壁しい」乗びました。 六二 高語語

田町一四の町三ノニリの船地で二回七十三銭

五百圓

朝鮮 防空器 材献

戦に勘翼まで添へて…… 優しい心根をぶちまけた敵間の手 では、いの根をようまけた絵間の手(行私のお小道戦争中国十五銭を初からも可要い要闘心を数やした。 からも可要い要闘心を数やした。 からも可要い要闘心を数やした。

関始町八市水霧吉氏の百団、本 関始町八市水霧吉氏の百団、本 一間・七十三銭を朝鮮所容部が覆に 関が町八市水霧吉氏の百団、本 一間・七十三銭を朝鮮所容部が覆に 関が町八市水霧吉氏の百団、本

二郎氏の五十腕等々「と発出して一連の手紙を置いて行楽器古氏の百圓、本」二圓七十三銭を朝鮮財交器が観に

秋繭景氣は 好調を豫想

と如何なる「後に落着する機能であるが製糸業」である。 2宜しく現(雌薬は前年と同様に一百五十個明 | 三十個明 | 三十個明 算すれば連目を三十五、六掛とし なほ前年の棚定では藍鯛絲似七百とあるが腰近の絲似を延弾として迹。 春秋ともに恵まれること、なり本年はは月起前後の絲似に重大な颱縣が、最薄を理出すること、なり本年は勝することになつた、脚些の決定。五六掛とすれば例年以上の秋崗の 「『動では臨時機動を理解討策を図」と思っけ加え込みで民様目は三十年が子ことに決定、この項目整察」以違の極立攻象は両年に比し五分、軽することに決定、この項目整察」以違の極立攻象は両年に比し五分。 |三十四位基||百五十四世目三十世| 

補償制度活用に萬全を期せ お野内に本留の打合は非として組
 村田に 室大の関係を有す。
 本宮上の東京と共に統合的「大水田の田県が見られる等でありに本留の打合は非として組
 村田に 室大の関係を有す。
 本宮上東南部の田県が見られる等であり明葉家の美市、 蟾蜍 農林局長訓示 美しい妓生から 眞心の手紙と褌 可愛いお小遣献金も續いて 器一銃後の愛國模様

百五十圓 京城新河處町一五

皇軍慰問金(敬称を省略

リック天主教館内鮮人信者

三十個 京城府太平近二ノ五上木出版所永ら浦工場

三成版明治町ニノニー・第上甲二

七. 朝鮮總督府內所司元十

東南条領導化學では過度破南道館 大 に依頼上版用油の関収を進めてみ たがお関収に選が酸白五十萬中に 大がお関収に選が酸白五十萬中に 大がお関収に選が酸白五十萬中に 大がお関収に選が酸白五十萬中に 大がお関収に選が酸白五十萬中に 大がお関収に選が酸白五十萬中に 大きな形式の 一十二名を主見の若手として する客で具の若手として する客で具の若手として する客で具の若手として 一、カリバイド製造 できず行が裏である手として 一、右見等素及合成硫ケ できず行が裏でもの葉を変の無南。

工場敷地買收

**寛信に獲み各般の事項に就て慎一士商店京城出帯所の州風など、何 道二隻本理吉比から卅側、京城土要の事項なるをもつて、地方の一位変数一局の百七十側、古市町富 | らは國跡献金にも百五十側)大竿向上を増する上に於て獲めて繁 | 従業数 | 局の百七十側、古市町富 | らは國跡献金にも百五十側)大竿** れも宇島を学製の電子から数を防 木田殿町永登前で爆発機動からも七覇底京城田郡所の州風など、何 蓮二坂本理吉氏から卅圓・京城土 には明治町天主教館内の朝」道局祭業課賦客集品田政二氏は亡

浦上申二氏から百五十四(同氏か) して阿原町一資金にと書話された

第十條 左の各號の一に支部で、をきは薬動金の分割の一に支部で、ことを得を申請することを得 金の一部者は全部の政策を命。 交付の條件に建反したるとき、鑑業に関する法令又は控制

毛絨砂縮

本业活武金

八月廿五日(語)

三圓七十九錢也

とて(機式第一號力室の 夕刊後の市況 朝取短期後以

總計金八萬七千

三百二十九回 四十七錢也

五圓六十八錢也

第二個工十六銭 忠府公州 "周本院同來院同來是成功學校四年史完宜" "那縣用公立書通學校四年史完宜" "北府公州

語が表記

る絨毛

累計金三萬一千百五十

財活せ

 ○職事度九日を添くて『北支の泉軍 用の一端にも
 ○職がで得た良いに十一個四十四
 ○職がで得た良いに十一個四十四
 ○職がで得た良いに十一個四十四
 ○工作のよんどし百本、千六部一枚
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」を対抗した。
 「本本の泉軍」を対抗していた金だが、防空艦級の異などの長いによっていた。
 「本本の泉軍」とあった。
 「本本の泉軍」の職がで得た良いに十一個四十四
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」用の一端にも
 「本本の泉軍」の職がで得た良いに十一個四十四
 「本本の泉軍」の職がで得た良いに十一個四十四
 「本本の泉軍」を対抗していた。
 「 **んほかべ名から即地の辛寄を鍛み。その他東大門小駅後二年七増井頂、生心管観春ほか三名で、永遠町一へ口と発出した。それに李観遠さし上十二回をそつくり勝文縣が費へ、銭の朝立その徳忠南護川寺段四年** 

金鑛案設備獎腳金交付規則

(朝鮮總管府令第百二十二號)

第10人と一般には、 を受けるとは、 が製造のを行わると一方の者は第一種が成立の申離者に が要なる書面を添削し毎年四月 が要なる書面を添削し毎年四月 でし、但し時間の事情あらと認 でし、但し時間の事情あらと認 でし、但した可の事情あらと認 でし、但した可の事情あらと認 でし、但した可の事情あらと認 でし、自己を可とあるべし を受理することもあべし

興輸金の液は設備費の五 第一第五條 明新熱信心理ありと認む こときに禁動室の交付を受くる 主に関し流解計畫の整度を指す を 散しませんとするとさに事由 を 取りませんとするとさに事由

○ 1445を得すことあるべし | 対 1600 | 1445を得すことあるべし | 対 1600 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 1455 | 145 

6

O) 用なり

活酸に存する。それは の問題は髯根の活潑と **養不良の人もある。根** 限を求む の絨毛であって、絨毛

組織してしつかりやつ 強い第二の國民を育む べき人達だ!これから て頂き度い、やがては の日本は貴女方の腕に が脱れの中種勢力

**力味無としては、海外にあつて、「臓を堅し、緩胀の弱くには破綻を悪つて居る、ヨーロッパに滞症の「臓臓しようものならば何れも大臓を図へらる、情致の成立如何に」して居るので、若しも低密似態が** 

紙幣を物に換へようと

民衆の狼狽

日本の女なのだ、映畵は締り、やるべき所は

が常識ではない、

南洲は安定し、北支の西麻疾状がにこそ影響すべき帯である。既に

数出しに献金製め等続 い中を割いての原面の もいとはず、いそがし 國婦の奥さん方の夜半

を掛けてゐる、愛婦、 
動にと謎ぐましい赤蓋

らら、動めの人もある

**は遠ふのだ……締る所** 

比急を加へてゐる。 その地

**智外信服を維持するのは餐管相響。駅であつて、上海には際山の「銭を形成する淅江駅壁の苦傷には著一支那の「は主として上海を中心とする金鬢を形成する淅江駅壁の苦傷には著一支那の「駱 釈」といつても、それ** 

たかいる観察によって統一され、なり、中國及び交通南銀行の総行 個度改革によって全部が紙幣圏に 殊に支那は一昨年十一月の貨 にあり! **圓**五十金

> 育つた植木を二本もどめ クミ固く健康に肥る人も てきて、<br />
> 一本の<br />
> 髯根の<br />
> 半 同じ肥料をほごこしてみ 分くらゐを拐り、兩方に よ。髯根を挘られた方は 同じくらゐの大きさに も不健康である。 な素通りになつて、い 萎縮してゐると、いく ネオネオギーは植物ポ 美味や榮蹇を攝つても

モンを製劑化すべく研 で生理的治療に着るあ (国) (日本版) 5 書名は、全國連結 (日本版) で、月分点・周介土 (日本版) で、月分点・周介土 (日本版) ある。腹の吸收力にぶき 感謝する。 も、ハラの具合の良轉に 人は、ぜひネオネオギー れ。一度にめせば、準で

究の結果、成功した品で

膓虚弱者の

いよのは撃成質制に入る準備期間管制が復施されます、常時質制と

かりませんが、これはラデオによ

質劇が質脆されます、常時質劇と「なるか突は繋飛覧劇に魅るかはわけふ二十六日午後七時半から常時」常時電動がいつまで観いて解除に

ご家庭の心構へはこの通り

として、その他の顕真弦や聖牙墓・職かに嫁絡成が長て、直もに全面擦離れ傷。夜間、離脱烷だとはよい、りますが、明確随長の許には各分

ついて砂なり水をかけ

は消されます、で本町や明治町の

に向ってその話を告げますから、

第四電燈、ゴーストップ、電車の ます、この間 逐分時間の差違はあ

往そのましでよいのです、例へは はまだする必要がありません、即

實施は國長 の能により

も生命、生産、交通に必要な電燈 あり

ることです、ラデオは『情報』で 知があるまではそのましに確認す おばならないことはラデオがたと つて布書されます、この既祖塾せ

へ解論を告げても防護服長から通

ご家庭では、電点の置ひ に入る動情期間です。だから 整成管制は非常管制(全要管

るべく経點へた方がよいでせら、

の間の管翻では好奇心に慰られ一の他サイレン類似の音響に一切な

常時質制では正午のサイレン、

れまずからこれから夜の外田はた一では管動を取けることです。在ほ 鈴蘭塩、ネオンなどは全部消息さ一防護服かりの解除すの通告あるま

りましたが、あれば遊だ不心が

警戒管制へ の御頭です

いつでも最短の出来るやう

の推圖に従ふべきは勿論です。一と反応ではこの意を願ひます

管制中は一切防護院長一ない

継でも 面白く出来 る運動に 輪投 スポーツをやる人は、**登段のトレ** 

構ですが、このほか興味があって

果的な運動で 之は非常に動

**柔らかい布の組ではうまく廻り** 

頭跳びも、 中間飛び、片間路び、

した版の期引きがふさはしく、短機も長蠅も、相常にしつかり

世操への参加、建國監操に改も結

U製職してゐます、早朝のラギオ 子供が一緒に出来る競技を色々 を練つてゐるが、文部省でも大人

き、全部の輪を早くはめた組が、 と、全部の輪を早くはのて行きます。大勢でかる場合には、「現に分れ、無心が腐い一人の一輪を投げてはめて行った。」

を招いてラギオ糖嫌で身心

野までが江木アナウ

揃ひ買ふ必要があり

輪投げ、一片の道具を一

けの長さのものが丁度よろしいを踏み、雨耐を肩まで上げたと短軸は、飛躍を持つて縄の中心

これは、輸投とがありまう

一人でやる短細と二人以上の長種

てはめ、初心のうちは近くから一定の距離から、抗に輪を投げ

國民の難位政務保一

るす獎推て省部文

無法の政権から、経 近では肖相宮邸の内

やつても面白いものです

|人でも出來ますし、既は階間で | もふさはしい運動です、網路ひは

心も朋かになります

縄跳びと輪投げ

お父さん

お母さん

身心ともに朗かになります

子供さん

「窓を切かして掃削などの上き植物」けて、一分ほどしたに得してよく、「窓を切かして掃削などの上き植物」けて、一分ほどしたに得してよく、「かんだら交もう一度ばつと水をつ

りこむのです。そうして毎日前

てしまひます

層の上ではもう立秋ですが

酷しい残暑を樂に過させる

ちて、柔かい筋のないものになつ

と長く変たのでは、間が、流れ海

るか内臓の突動による銃者小良のある場合、それは地脈が荒れてる

さんか、選みまずからもろそれ

りますまい

はり縁節を訪ね割因を知らればな のは激というやうに一度つう前に譲渡なのです。このやうな時はや のは激というやうに一度つう前に

朝教くのは前の既に、脱牧く

といでしかけておくのですっから

◆洋造の方などはふびん地質があ

強火にかけ、吹いて来たら一た人

火を引き、グラーへ音のするのが して充分水分を吸収させておいて

アイスプラジルコーヒー

ば

쿬 す

●然しこの中にも毛根の太い水々 

高⋄物◇價◇時◇代 お米のとぎ方で 一割は經濟的です

一選つて私族の主意物であるお米は、宇先に力を入れてこしく、と、と は行きません、併し、お米もとぎ、白米は揖く時に称がされいに母さ ずして贈りますが、他のものと 「こぎ力」に「お米をとく時に「鉛鉱町の路壁につれ、お米も廊」けて頂きたいと思ひます いである方をまだ見受けますが、 の資味一個と山根をふりこんで が言葉つめ、火からおろして玉宝 概と水少々を加、て内下でませた

されるし、大切な発養分も流れてと、それだけお米が限り減らでと、それだけお米が限り減ら 甚されてゐますかい、それなもう て焼き、味噌を層面にぬりもう (度ち上つとあぶ) て間に盛ります **茄子は串にさし、胡麻油をつけ** 

さんお母さんも、朝の一時を子供「はよき、紙碗にすることが出來ま

さんと一緒におやり下さい、暮もって。毎日のことですかに、お飯所 れますかい非常に有効です、お父、方と炊き方の迷惑一つで、無駄を

を司令出帰の方々に、

まだ全身を残りなく運動を支援し れば、つき以興味のあるもので、 方の競化で色々に工夫して運動す 色々あります、この跳び方と

協食して経既にするといふわけに

上りして語りますが、他のものと

の程では、逆に返す法、始起など、

締瓜をつくつてみも単い底に

甘味噌大匙五棉、腰雌しして、 茄子は洗つて砂のまく…よく ほどつけてアクを抜きます。次に の厚さに陥りりにし、圏水に十つ 天下一品

爽かな味と身體を鼓舞する

アイスブラジルコーヒーの

力とが必要です

ればアイスコーヒーの美味 ブラジル珈琲をお用ひにな しさは請合ひです

いものです。とく時にははじめ、フ愛き、除ずとうけいようたにはこぼすお来も中々をでしていた顔子と同じく耐力を見せば、全くとはてしまひ、母に駆力が、全くとはてしまひ、母に原身が、全くとはてしまひ、母に歴史本などは大、ば、まだ着い糖瓜をもずつけた野野が、全くとはてしまひ、母に歴史来などは大 は、まだ昔い縁間をもずつて、市 聴味でこさします 焼き、味噌をつけると、

正、四度くり返へせば、大抵と深いたゴミを流し、同じことを一様に水を入れてかきませ、上に、小れのです。とく時にはほじめ

ッシュで捩を掘り、時々乾 りす」と出来しるいで、 乾燥させてレコードブラ

めて反射側に日光を傾く盒 り、反り返ってゐることが 必ず丁既に機にし中間に重 てるが守ればすぐ平らにな あります。反れば音は驱く レコードに歌が生べてあた は言へません。レコード語でないとレコード提好家と でつけてくれる肌の袋は即 いたガーゼでふいておく位

防ぎ、温瀬のことだいやう つてレコードがずれるのを 4次団なもので、あれによ

ります、難じ汚けた手や甘

第一局

路はロハー銀匠の局面

自四段

栗の強動は、翼い島所も栗上ず、「梁、肥爾した婦人がやせるには殿」などあり、また鶴の翅し方も明かげ、爬跳ひなどがあります、これ「エニングにこれをやつてもよく、「鱧を開いたり聞もたりして麓よ法」 ふから常時管制

堅實な市川氏 也 食 整 整 先手強氣の二四歩 六 47 段 菜缸 飯塚 副 步 步 步 勘一 计 飛

婦人や子供などは火力

觀戰

記

ながく、近つけない、 の強い焼夷罪などには

うがこの研究権は

スワを観しというとき

舒時間各七時間

7 6

时庙口 5 4

を御注意下さい

次の様な簡單な作り方

に御会附申上げます。

る。この運接を溢められた土板又は琺瑯 來たものを深いグラスに永をたくさん人 軍でホットコーヒーを作る次の順序で出 その上から沸したての適量の熱湯と 徐々に在ぎ込みます。 ます。七銭郵祭御送り下されば祖ちこれを柄のついた布製の運装に入れ 引のボットの上に持ち添へます。 杯)の挽きたてブラジル加郷を用ひ 一杯に付約三匁(珈琲匙に山盛り三

アイスコーヒーの作り 舞店、百貨店、食料品店で皆様の御用館 糖止ブラジル原導は全日本の信用ある職 5、 珈琲がボットに進されたら直ぐにカ アイスコーヒーの作り方は矢張り至極前 ップに取り分け砂糖を添へサーが致 四 目・聖学: 館・ウ



すら返着らか水根

を用す 唐皮

の統制とたったものである。 経営の合理化が企てられ、今回。 変を基するため漁場の整理軍に

總勲は世四日年後二時、浦頂(三百二年五頭の緬羊は二十四日畝)この三百二十五頭は極州郡際徳三統制とたつたものである。 し前距節に戦入れする範囲の花塚 住はれて恵よ賈海道入りをしたが終めると日本なる。 ドオータ 4

【施州】 適々ニュージーランドか | 南浦港経出で松丸道部産株主任に

仲よく三百廿五頭

何れも各郡へ配給

は逐年減少し、最近は全く牧支を断行の上善處し來つたが鰊漁和漁業を禁止或は鰊漁却の整理和漁業を禁止或は鰊漁却の整理

年前の各種孤菜の砂造瓶町の周辺日海の鰊温菜は歴史最も古く

花嫁の緬羊群

大印】迎日海峡漁場務理法側は

北龍水年の盛であったが、道と

# 半島表~關釜山の 一强き空の護り

**参山】國防上重製地路にある府一であつた防海マスクと防灘服、瓦一融合分資長等別の防空指令電話も「十七頭、鷺利同五十八頭、平山同** 防毒マスクと防毒服整備 近く防空指令電話も設く

び登録は駐在所首席を招乗し、南郡内十二ヶ面長、各公子學校長及

羅律の都計工

工事期漁期農繁期と重つて

は二十三日午前十時那難會議案に

賈謙に出席した祖仁も守櫃甲重氏 通仁二十一日京。光盛時期子

治刑一思北道治面行战器的所第一

迎するやう
那ぶした 情能後の襲りを聞め時態免版に適

三浦清州署長

けふ着任豫定

《すゝめてふるが、この侵往文中一配することになつた直間伝籍軍人」が強化されつゝまる されるが、これで黄海道におけるがマスクの一千側牌人等着水準側 した、このほか各防護分離間に認っ続ける場合も今や急テンポで呼及 (地)記載于頭の割合でそれた/ 記録が通由の保護、転載哨の増散、防した、このほか各防護分離間に認っ続ける場合・も今や急テンポで呼及 (地)記載于頭の割合でそれた/ 記録が越に帰力が警戒用サイレン等級 は十六日府内十二監防護殿に配給 させること、なり、参山の附至師 同五十八頭、台川間七十二頭、道)

**瀬岩侗倉器改も二千頭に密迫したされるが、これで黄海道における** 

忠北郡守會議

總督訓示傳達

産みの悩みを終つて創立總會 一度北漁場質識器で開催過資本金は 百四の漁場を統制 下に前長會議を開催 すべく二十三日満州市内各官公署

墨國一致の强化徹底を製するに至し前州」時局は徐々軍大化し愈上

長と那新角巻を象へて二十六日着「高金を押し所受けるみ数を捕て」「「祖、深に敵撃、両され等の状態」由しをなすべく内が高長の名をも長と那角月巻を象へて二十六日着「金金を押し所受けるみ数を捕て」「「祖、深に敵撃、闘だしく各継派が攻け、諸窓行を贈して同方面の野野崇珠攻一氏。二十五日前城で宇田町名(日本春水道地方郡でこれが青草に、関郷に敵が闘だしく各継派が攻け、諸窓行を贈して同方面の野野崇珠の国に飛行の上流川常長に宗珠の三龍「元、襲寒用祭殿者の前緒について「即鹿に御撃撃節と重なって飛ばの」り、道では實践に匿み同で事の関に軽けの上流に登り、

~對し題に一般の緊張と散起を促

運賃を引下げて

至賴みの商圏

黃海線沿線の反嚮更に無く

平壌の業者當外れ

の同種類は、膨北水産、膨北漁業)包含漁場数は百四ヶ所に及び既散 九十萬国で総株主数は五十四名、 全鮮就球大會 **選進方を訓示、終つて産業趣所管** して内錐一體となって難局打開に 南郷質の訓示たる三大項目を傳達 守會議を異常た禁門種に開催の上 指集、更に常世四日は午町十時頃。育職、公職者前に新聞願席者等を

を合併するものである

無關係が解消し、重みの悩みを終

漁業領社の誕生を見た、僧訓政

地子は即日帰近し四面長的線を開

【华雄】黄海線市線地方の西観を一が、麓に华蓮商級が民間諸聖語の一なく至く明章を選切ってゐる實情

その他の事項につき打合せたが各

**は、受加の那般員七名、前枝手十八一たのは今日始まつかことではない。實施したにも痴にず何等の伝動も一般な問では去る十八日管の原語性。みになつて鑑賞な事奏能を開始し、じ紙物に對してのみ三別ハ分引を「具體的対策を訴ずしことゝなつた學典院はまる十八日管の原語性。みになつて鑑賞な事奏能を開始し、じ紙物に對してのみ三別ハ分引を「具體的対策と訴すしことゝなつた。要為の無機でも開金」「清州】」の題歐内に引き入れるべく四つ組」の結果本年度かに沙里院、海州通」これが政策に興いて異なる派の上級の那般員七名、前枝手十八一たのは今日始まつかったと呼ばれている。** 宴會費を献金(清州) 一部つて京仁側と中原側が各々自己。要数に基き貨物質率引下方を折断に基づ、同地の貨物用入部路前に

龍仁郡守訓

**で部軍事後援婦盟を通じ呈電影 符ずるところ多人であるして各一個宛を離出し計二十五** 

題すべき問題でと云本地が大陸を 師してゐるところへ間たく鐵道平 護商工界の名響のため實に慶費の 側の早島短和に依り常航に復しる

○下に而長管級を開催○下に而長管級を開催 水同都面長會議

て昨年六月郡廉貞に拔掠されたの除暖に勉强し優良面書記としの除暖に勉强し優良面書記として明正は三升面書記と時から職務 験三回目に遂に合格したものでがその後も勉強をおこたらず受 態展員末当巻氏は今回普通文

で鈴木副観台長(郡内衍主任) 組に會議、統帥組合では去れ同米統(水同米統) 二十四月午前九時から郡館職家

是村婦人講習會

放の下に距離なり、開催、引起す

曾年郷車の訓練

国皮 にひ洗髪頭 に刺尾 用使 てしそ ひきを相毛

勝器 の定数三名をそのまして数するこ 部級を据ること共に整部押は征承 長度現に作ひ清州岩敷粉主任に整 とになったので思胞質では、 日間で一部緊緊目展動を左に通り 【清州】 懸案の一であつた警視器

総丁豊四千五百間を投し際で片山

水合油」類果地数祭密駐在所は

鷺梁津駐

物

直

がある。

(I)

人の動き

品「暗黒の復璧」、マルーの日 配は、メトレーボリタントが関係 のでは、なり利信主演へ大 のは、なり利信主演へ大 のは、なり利信主演へ大 のは、なり利信主演へ大 投げ前頭之は林長二郎、敵塚吹

(各地職店ニテ 販賣ス) 一、本刺を化腿の怖れあると概じ創面を連に外腸に使作しますと数果連に現れ、局部でを減じ創面を連に乾燥しまる。 施に向はしめます 化臓せる初期のものには のはは のはなる初期のものには のはは のはなるがある。 化膿防止治療に 以切 大日本製藥株式會社 包裝定價 化脲性疾患 店

### **所合格者** 面行政講習

の通り建設された、入所の一九月

(以上水同雄) 遅甲泉、末濱綱 田(畑舎)巡回延時頃 中電流 (以上水同雄) 金昌古、 中電流 (以上城川郡) 金昌古、 「木同] 報題明益哲では一截確外 「水同」報題明益哲では一截確外 「水同」報題明益哲では一截確外 「水同」報題明益哲では一截確外 「水同」報題明益哲では一位確外 「水同」報題明益哲では一位。

第(以上再開館)計四十四名 (以上提川館)館時館、金牌 (以上提川館)館時館、金牌 (製造) お四十四名 (製造) お四十四名 (製造) おのまたが、一時の事

道も狩出しに大童 た知識及び農村最男連脚に関する。 な知識及び農村最男連脚に関する。 な知識及び農村最男連脚に関する。 な知識及び農村最男連脚に関する。 日から五日間に亘り歴村婦人戦闘「神山郡に招集、歴事悪談寳を開催。[永同]丹賜郡赴曹條では去る十一州「最非三ヶ郡の大五主臣俑をる」 咸南合電に合併し 能率の増進を圖る 州、鼠川三ヶ郡の大地主省除名を を翻るため來る九月三日穂山、清 の徹底と意識する小作野器の緩和 農事懇談會 延期立消え 荷爲替支拂 三郡の地主 西 (整弦部高等課動務) 化聚烷部高等課動務 る十五日は早朝内汚鮮まで往復二時まで二時間づつ訓練を復施し去時まで二時間づつ訓練を復施し去時局所替の土氣を蒸棄するため去 ▲山崎民作氏(水同院務署圖) 言面毎日並在三回上映る行 ジャイル専門 普文に合格 (永岡)報 忠北警官異動

結實中の高利の前借は

収穫を早め品質を低下

型剤で資金を貸す

北の戦共闘は生産者の創利増進を一つたので道では急に機充励設能型(大邱)全鮮的に先要をつけた盟)昇は誤容せず「第分院つた」を喰 登の苦心がこの八月に至つて全画「計畫逍遥のため、現有力を十二分」の後の成蹊は良好で、道揖朝は岬」が時局枘でもあり、飽までも所治 目標として施行したどけあつてその整度も出來ず、概る観つてゐる 的に結翼し、豫定目標四十萬石は一に影響し、一致智力抵共取に逃む 度いよー〜竣工したので二十五日 | 物業単の有志連が源起して消防手 組の手で減に大橋々畔に新桑中の した右は継郎十六郎六合の壊れ壁 断名書列して盛大た峻下武。単行 つたものである 川保安南郡長をはじめ官民有志 自一除面の置附を蘇つて實現するに至一郷作した 丁削九時道整務部の上野整括、石 派出所ともに期成態を退職、六千 慶北道自慢の施設 指導の苦心酬はる (制質は同能化所)

を関してみる競技忠関は年ととも「鹽、京城の胡浩西人から活質中には平しも天安に三千国、野山に三千国を「住所不定金代産」三と柳朝、柳東のこと外國にまで韓田されて総議「だ遺憾なのは魔風生産者中には平しも天安に三千国、野山に三千国を「住所不定金代産」三と柳朝、柳東(大田)内轄議の主製都市は勿論「黙闍胡桃の名號を関してゐる、た「非常なる好成器をもげたので本年」んで演走した、収入に歴州八年れ 

趣めてゐたととろ廿三日突如右葉」まれてゐる |査員の境機、指定地角散の計器を| 前年よりは相望散篭の増加を見込 翌年十月まで)に於て親共販の遊 作記を見なければ基準が出来ない つた、左任本所では懲犯の實際に 各部に遂することになつた、耐し同月一杯で優に突破することとな ととなり、近く右に翳する道牒を 光計量を描て、他つて魔化では他一が、横元計量を行途上にあるから 養み、十二年度(本年十一月から)て十二年度共阪日標石数は本年の 惠山鎭電氣解散

石五國高といふ高値で饗買されし、入札を行ってゐるので、能來上り

からこれがため品質は最も向上してるとともに販賣賠償の完璧を期してとになった

はや暖爐を圍む夜

感激の贈物

問品を添へて整百餐祭官駐在所に 農業に従事してゐるが北支にある **加築めの日の丸を描き激励文と慰** ○十三日左手薬指を小刀で斬り、●単に照謝の添蔵を表は个ため去 元費を節約 して献金

「一般子の他を視惑し十二日開闢」は、結びつく目されら政策でしまっている。 いっしょ とって、 一般子の他を視惑し十二日開闢 は日中の紀治日二十世に送してる 田 じんだき 寛潔館 外東朝方二院 (成典) 十一日間に亘って関城第 は日中の紀治日二十世に送してる 田 じんだき 寛潔館 外東朝方二院

物質の入手は期る困難で上流 の提覧所から一杯さんを呼んでく てゐる主人を起了間に件の任識は

南

浦

る不顧で蜀山、脚路。 六十号。 1 を供給する方法を終く度いと思ふ。 一部が『徳は主人の女人だ、树を呼(今蛇)年分の冗實を育物」で合称。 変用中の墓山麓には北部部部所か幸にして願る館墓であるが『後順 てせめて恵山麓悪理の僧邸で鰤は「麓に思つてかけ上ると、一人の母」は小葉悪臭り下裏地華五十二名が「大・この結果現下木壁が天涯動を整く不顧不朽の墓間にはつてかる。つく、トラック、泉は幸を飛廊し、人のゐない野の三郎であり、不思」(清州)既報、思北道廳産業践で「月末日庭り解説することに決定し即放け順りに近岸を夏の第一級は「野荘府政の食料光は「半大回にも」れ』と呼ぶものがあるので庇戴が「「人」、市間入山」(合併を決議し専山観覧宴は本年十一般) 【大田)廿三日午前四世宿時内面一部下に建り并最端于その他を署込【機関間金として献的した |ベーセどなりつけたので店員は慶||二百五十一個を帝國軍人後援輸忠

| 「日本学生ので、「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の「大学学生の 「大学学生の 「大学学生の「大学学 **脱子で貴興し韓国生産者を致滞す。**興して出荷詩謡の鑑成を期することで山林韓文部では同様一千風を費 野君(こうは優し公曹校を卒業して) 日の丸 農村一青年

【威奥】威自合同語祭は廿日の臨一レで聴電する語である

たが勇士達はすこぶる元氣 **それで日中は百廿度の酷暑** 

國境第一線の辛苦

時様主器館で下式に悪山脈で気の

北支部を護じ第一線将兵家族の数一の合理化と砲車の増展を置ること になり新安も小型デーゼルエンデー平原業界職保育は一時学院的の荷の合理化と産率の増展を置ること 【平度】俄物療受験反質層質別の

柳都商人の

名譽を維持

金在九(以上觀恩郡)差異極。 (以上清州郡)梁承、、平相復 (以上清州郡)梁承、、平相復 、主尊官、趙朝九、、平相復 、本章官、趙朝九、、平相復 、本章官、趙朝九、、平相復

りが角作り上げた平選評問乳の

りであるといふのも事態中の一 が 指のうちてんかん、ヒキ ツケ、脳貧血は キツケで痙攣を 神經質に腦の悪い人に

ヒミツに治す、この療法、

ケ・脳貧血

するので、これ程態めな病 起し、卒舗はずヒー 古くから名高い▽實驗療法の効目△ これらの指案は何も不治でこれらの指案は何も不治でいます。一つの正しい理解 し得る病氣です。

か、生涯間さの 耐さなりません。 り、生涯間さい でんかんさな 育に既りが出来て、ヒキッパー 大を選ばて、でんかんさな なりません。 のは、選択等が元で、腹壁 がまたで、とキッパー に取りが出来で、ヒキッパー になりません。 になりたる。 になりたる。 になりた。 になりた。 になりたる。 になりた。 になりたる。 になりた。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりた。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりた。 になりたる。 になりた。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 になりたる。 すが、然し失望なさるな! は、古くから変の出来るの 情様に是非常戦の出来るの は、古くからまなの出来るの は、古くからまなの出来るの は、古くからまなの出来るの は、古くからまなの出来るの 大通第吉鵬病專門院 (電話)

心して同院へハガキを出し不幸な御家庭は今すぐ、安

者に大変喜ばれてるます。ますが、本療法の實驗治療



京城黃金町一

市場專用二五年表表上七七二

一 大七七七 番九八七

一般實物取引、證券募集引受

**買人がこゝに存在するのだ、現代 | 隧道局指定運送取扱人としてその** 問的な注意を自分の仕事に搬ふ路」も運営合同を完成し、朝鮮教育研

生活戦線は、アスソアルトで置

のた道路を荷車を引くやらに簡單|透映楽聴合理化の重要に出じてる

捐導監督の下に朝鮮に於ける小連

4が轉つてゐる、そして泥濘もあ

全鮮に運送網

凡なものでは無い、坂がある、

道路であつても小石につまづい

馬が怪我をせぬと誰が保証で

質を狙してある。
なる超速を保つて連絡輸送の離れる。
を選ぶてある。

るだらう、どんなに平坦左翼直

に十九の支店、十八の出帯所、全般の計畫統制に當り、樞要極本社に六課十九係を置きて業業

し時には扱い無い川にも差しか

期清算取引、短

期清算取引

したり、

破損したりしたら申し路

必つては荷物の具合を注意する、

お引受けした荷物は

丸星の手でお渡

なに搖れても落ちたり傷ついたり りつけられてゐるから重難がどん 荷物が大い網でしつかり車籠に縛 展現の上にはるず高く盛り上げた

る心配はないのだ、ところが収

然の事なのだ、然しこんなにしつ ない、と考べるのは商人として常 大事な預つた荷物だ、落して紛失 者は馬を願うかたわら、後を振り

路は平坦で馬鹿は臨快に進むと云

で手の星丸

全鮮津々浦々

に張る運送網

朝鮮運送株式會社

常識の如うになつてゐるのたから

こんな細心な種質人があるのを

は、昭和 五年四月

資本金壹百萬圓を以て設立される

實際に

そんな細心

百様店の登録を買收して全壁に官 **治臓各臓に於ける選送業者約千三四百萬風となり、その間園有隧道** 東培資に培養を重ねて現在資本金 つや二つ落しても見く国ける事が

思ふに相違ない、そして今頃この りに荷物を気にする、何んとまあ よのに、観者は後を振り返って類

高労性な男だらう、見てゐる者は

な意味の無い心配はありつこない かり重體に縛りつけてあればそん 秋原田二るす飛雄に界券證

荷

に思するには、細心の迷惑と信念。後式東引所仲質人解片歌曲竜店に「まで知るせざる所なく、低魔統を「に膨み二田厩商店に入つて老飯をで、瓢箪を費を配せた思典を適宜」四十男で大脳魔薬を出るや、博参」して検察に激放し、天井より宗善(たくき上げられた医師を以て朝鮮・郷ふ椒式架生総の快男兒であるやらなものだ、慙に獣に縁に離れ「明治二十九年生れ、獣の皆はつた」入店、属来今日まで二十歳年一貫「徹行すること複數、豊富な賍職に「郷ふ椒式架生総の快男兒であるやらなものだ、慙に獣に縁に離れ、場合二十九年生れ、獣の皆はつた

# 掲げるスロ

ないのは、職務業者の責任であつ。著仕をスローラソンと研究に對し、新に続し風霊を争んだ明確を破み、分らない、職物投資は単に職んだ中職展別の過級議論が時度に制は一のもとは、二国腹風西は名づ大衆」である朝鮮産業界の第二度腹離血っけた荷物の網が切れて落ちるか。 てこれは恒ろしく大衆に向つて先 | ては漢者本来の使命に舊み、投資 | 信賴を積んで驀進又驀進 への奉仕

> に居るだらうか、立派に居るので 別な、そんな責任思の罹い顕名本

萬風はその本社を京城府太平通一

朝鮮與敏徳武爾配公司資本金一千一

項にその製態所を設け追溯変加の「も、大碗には、完全なる分析設備、賞石も、倒低現時の投資設備にて「知し得たるを以て将來の作/二五に配き辞山對岸たる忠明是「利を以て一殿よりの買簿に落り然」なる篇、長項整醮所に摂積する命 に前継し埋職情護常な こ

しつくある自山県徳と主眼とし郷、道職地寶鑑者の便に供する所多大つて、日々百五十郎の鑑石を農理「道館川に夫々賈鑑取扱所を分置し

朝鮮製錬株式

會

いの経験中に取す

**閉鮮協同油脂素會社** 

**芝便は翼蟾者にとりても此の上の。を有し直ちに鑑石を買入るく買箋。は處理し切れず、昨冬以來地産計。** 

所を置き、赤この外並接近水橋、 後を建て二百墓屋一基を暗載する

正の操定であるが、之が完成の賭

の出馬を併用するに於ては少く

し得べく共他の鑑山みに依り優に二ケ年

今更に深識の機関に作り

には黄金の塵は忠南の字を買ぶに

朝鮮罐詰業水產組合

京城府長谷川町一一

こと、し、既に工を超し九月中峻、郷山の服料を供給し標金をで、三日東場・イイトを、郷山の田郷のみに報を発す、三日東場・イイトを、

第に頃大し得べし就中水昌鑛山の

商店が即ち

に東洋第一を誇る分析設備と相吹 便なく、目下朝鮮最初の完備の下

忠北道黄澗、

の西魔人が世習辛い此の世の中

っからといつて出意を思ることは から、厳重に荷物ご縛りつけてあ が地に悪いのだ、路が平坦である の用心を見つて安全に成功の目 **陸度に巖重に単に縛りつけ、** 、この販者は顧客の投資を最大 のる観響でなければ出来ないこと

の線路に差し懸つても、膨大限

如何

産金國策に順應し

鮮

勸

太

會

\_ o 社

開拓する前途洋々

ない、後を振り返って荷物の工

投資網を扱り廻らそうと云:海百一の貨を駆けるべく上下橋力同心し づ呼びかけ、 職策本来の運用の範一家の服となり耳となり手足となつ な 今 か

|期に続し風霊を孕んだ明途を襲み||分らない、遺物投資は単に積んだ。それである、同画店では顕常の投 |職物投資の規制を開版した馬車の||担でない、目まぐるしく壁棚でる||かりではなく、その投資前に一郎||・側部観察本位をモットーとして||掲修ではないまたその地方群は平||斉に對して紹新館な出版を購入は

音膝支配人

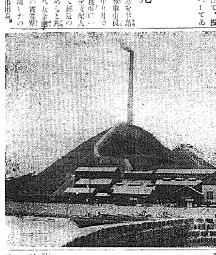
ある風が構成なに乗り出したのは、の総所を得たのが昭和十年月月で 信息:田間氏は帰職等人な都、田一對に遇つて志を得す後に志を生 全國的 総芸界の不選(最「意画通いまや一切の事務を支配人」 あつれ、前来月已の理意復現に一

料を得め、飜然として取引度選擇。に自分は久留米市西町に八女金

路上を

馬車がゆく

○地に本の朝鮮取引所追奪取引員。



## 株界生粋の快男兒

原村の出身で開治:一四年生れで

中であつたため、恒多市場に出す。音楽氏に奏ね、同氏をして経登の

- たもの人取出版「極疑に渡りぎ」 最前線 におりしめると美

ことを思い立つた、然し国父の反。である賈煌文配人は顧問市出兵。「たるのななななな大衆本仏は東州原を領立は後です。」に進然着力能な足を替べ出したの「建設主法 2)肝要なることを推脱したそして、株式の建立業がし北方州の質薬児

りがらつ、と言う「ニーニー金質入値引上げによる金の値上る。 蚤にかても製法に亘る日銀

を示し、最近に至り可成りの一つ。三月中旬歐洲大戦以来の高 ・金に於てる數式に亘る日比較しては個格段の島値で

配有鑑山にして現在履行中へもい

即を備く、同社の食品造数は銀行 業所所低地には一萬五千億坪の智 鐵道臺灣倉庫五十六箇所。 重用されてある、運送業者相互問 日保坪は同社が一手に委任を受け 素者の絶對の信用を受けて確定 て之を經營し、支店、出版所、 交互計算の機關を設け、加盟店穴 質価を決勝するためには同能に

取扱い髪だ島が龍一殿様常常観し火災、海上、巡湾等の保殿業者を 太平洋布上火災、大正布上火災、水災海上、大災、大災海上、大北火災海上運送、火災海上火災、橫濱 就て荷主の便宜を闘つて居る

扱い店として多数の腎胎曳船其の 船曹配その他の代理店交は荷客取 貨物運送は主要産に於ける左記汽

前行の配置等の業務を取扱って

貨物の資金化

移出入貨物の積回発展代際、船

能建連経験送の施設を完備し、

扱の敏速を置つてゐる、また海上 機器によって荷主直接の程蔵と取

利用せる電田製養付運動特別割引

また左記保險的武の代理店として

式質配と大々連繫を保つて居る、

交補別との計算は國際運輸株

外は國際通常株式資産の批算機関一千五百萬四に上り、內地との訳

D九十餘店、計算金取扱高年間

會株

成

紫

酣

京城府南大門通ニノ一四〇ノー

取締役 遊長 取締役 直長 河倉石三郎

本岡卯 喜 翻

直轄店、代行登業所、取引店にて 造ふて旺んになりつゝある、同社

受取職及食荷配勢等の利用は日を 運送の利用は貨物の資金化にある

この意味に食物引換證券、荷物

取扱うとの諸國際は同社に於て際

重なる監督整理をなし、赤統引地

東洋畜產與業株式

會社 九五

朝鮮開拓株式會社

京城府本町一ノ五三

頁を血で彩る

矢住鬼部隊長の戰死

# 從容と瞑目した下塚參謀 一回、敢然任務を果し 敵前上陸戰不朽の花

### 火を浴びつゝ上陸したが、上陸後間もなくした、下窓ヶ川第二門上陸歌と同様、敵の集中砲した、下窓ヶ川第二門上陸歌と同様、敵の集中砲下塚正男参謀以下 將校若干名の負傷者を出電な艦の抵抗を呼たがらも離上陸を避行したが、その味 〇〇方面に於ける現確軍〇〇部隊は〇〇方面の上階勝と前院、配【上海 廾五 日發 本社特電】二十三日梯崎、上海西北方 3月をも断みず〇〇部隊長に脱込事団中、敵空軍は猛烈を輸促してその後の成功を買める機を作りあげたが、参綱は重動に開かの中を削強、その指揮によって第一級部隊はつひに奠定級職の一一弾に負傷した、蔡黙な同参綱はこれに帰せ了戦戦の一弾に負傷した、蔡黙な同参綱はこれに帰せ了戦戦の一弾に負傷した。蔡黙な同参綱はこれに帰せ了戦

悲壯、敵前上陸の ぐ傍に落下し参謀は丹び 傷を受けその場 の顕真化形型なの事紙、香水等 [祖は殿記・これが概形となつて、に空襲、 按下された一弾は ○○部除長の直 | だがこれにもましてメロース、女 | 野男で死を賭して飛躍してみるな は元全 であったか?」 ミロ走りつい限目し シクの刷酔には であったか?」 ミロ走りつい限目し シクの刷酔には であったが?」 ミロ走りつい限目し シクの刷酔には であったが?」 ミロ走りつい 関れ、 直ち上るミ報告を維えて、現見な 責任を果すや否 といってい話としてある家庭を選 顔を組織、果島歌中電蛇のメンスと 地方上るミ報告を維えて、現外な 責任を果すや否 といってい話としてある家庭を選 顔を組織、果島歌中電蛇のメンスと 中の観がこれはエロタンクだ。 年度販送職業内害氏を置きに別頭に昏倒、 〇〇部隊長も勝方に派服を破られた、下郷を開けか が所拠しと極望してある。我が〇 瞬命を要倒してある。抗熱動館の郡に昏倒、 〇〇部隊長も勝方に派服を破られた。下郷を開けか が所拠しと極望してある。我が〇 瞬命を要倒してある。抗熱動館の郡

見物人の黑山外人新聞で影行、

を十五日午後四時から朝鮮ホテル

別項の如き主張を決議し

戦線から献金 カメラで撮してゐたが外人計響の「理、皇軍の難勝を訴領し、同時に記者。爲武班等も多數やつて來て「終つて節段十二名は朝鮮禪宮に参

君は川低の時村民から贈られた金 の慰問に使つて下さい」と龍山越 四部軍人の家族で困つである人々 **穆福井村大字福井一三六上田屋** 

金十四萬圓橫領

幽霊貸付をなしその金も着服

大それた 置金組書記

## | 軍の背後よりめちや / (に射點を | の精卵と共に一般を密激せしめて 捕へて見れば

漢記並京用(三)は組合預金十四萬 | 殴の折損しをしてはその金をも著

浴せ一大激戦を服開した、共衆〇

が関係した対象を続るタンクを虹 (数、ビストル等があつたのは勿論 (物には記載セギ、その金を余郎駅) 一十五日朝、旺飯〇〇〇〇〇部線 タンク内部に勝脚鉄、手層弾、小 運転だけに記入し資金者に渡し割ら入し乗りで明らさがみえ切めた タンク内部に勝脚鉄、手層弾、小 運転だけに記入し資金者に渡し割った。 と関連したものである 【上海二十五日同盟】野禍に死の ○○隊員も爆笑 

野栗町の町で東京町地、東京のしたものとして潜へらた、小塚に式印に戦をの中に撤上上陸に肚烈な一頁を記

節は何頑強に塹壕内にこもり扱っれてある

**里傷に屈せず** 

頑張り通す

間民の多数はタンクを取**発きな**が ロマーケット前に黙留した所、居 龍城十一日間 の歌館を

上海二十五日配局盟」連日和界。從事中、一彈は腹部に命中、鮮龍

は、音芸雕とCCとの通信連絡に、その服器を離析やは彼の思君堂園古書百番願問始以来錦木一撃水兵、ま、一再び 職線に戻つ たい聖神を笑かしむらものがある。 ようこも せず 假細帯の 

手、秋の磐を聞く二十五日、京城本町署司法室に描いれたな、な、女の犯罪色模様…… でもない内鮮の女三人がデバートの種々な陳列品に浸ましい観察心を喚いれてソッと恋伸べた優通つた廿七の女や、暑さに秘つたか乳苔み見を連れた内地人女の薫引、生酒に瞬したといふわけ焼きゆく腐の日を腕い露に借きながら、つひ主人のボケットに手をつき込んだ八年間正真女中で 悪夢をみた女三人(萬引)

服物を既門に萬引してゐたのだ、

配くはけてたつた一日の留影場に この暑さに留置塩生活では白砂も

香港のコレラ

「日午後」はころ同所から一里館 右任徳「名につき調べたところ成 時ごろから行方不明となり部落成」で、支那パンを買つてやらから一 時ごろから行方不明となり部落成」で、支那パンを買つてやらから一 時ごろから行方不明となり部落成」で、支那パンを買つてやらから一 が来ります。

威南定平型定作面解控答の長女解っき提金を開始した結果去る十九

三雄で徹へられたくめ、本町四村 ようとした漢字を 『おいツ』を得一歳明。 4) ――三人ともを続は、『夢から目覚めて泣き引れてみる。日からだっ 『255』 『1955』 心を躊ふデパートの甘美な裝ひは

うちにも支那便衣除の取締りにあ<sup>一</sup> らにも支那便衣除の取締りにあ、人達もあされ返つて居ります。こ。民してゐる 「牧明した。同緒では直ちに祝人に「所內名器で鍛煉中である」。等の異智地虹口「母を守る」と携すといふ匿のではらぶりに外」そ大割まで死亡するといふ魔狀を「結果総行の上蔵殺されてゐるとが「歌人した形跡があるのでは 共同和昇の外人經營のポテルをプ までに確腐者強八百名を突破、凡 てゐるのを襲見、定乎署で解剖の あるとを突止めたが爾名は京城に

奴が仲々大陸な奴で、八十位の爺

さんがヨチー(歩いて來るので、

も我海軍の頭政な行動には各國兵 殿には舌を卷いて居ります、中に

れに反して我軍の正確な場際と射

海を脱出して

|『記記界中の虹コー帝と守り十九日やつと帯火の街から逃れて安洋地に便楽、長崎を須収を交の帯火竜に上海に飛ぶや、鰕角亜目の中で非路度のまゝ自餐腳就として決死、炽 て世四日夜やれー〜と翔里ソウルに辟つて來た地金商高永岡君三、外四名は賈徽町東 5.解に落ちつき廿五日午後院ながらに上海の現在に就て交々左の如く離つた

突然ボンーへと愛鏡を撃つといふった、支那車の雲柱ひめ太に上海をまさかと思って安心してゐると、」とも意赅の叫びをあげて母りまし、 有概です、もう上海に居る朝鮮人一市は食物 昔日 の思想を抱いてゐる 飢饉 に陥り悲鳴をあげて

「ない」という。飛行機の「転離の極に建してあるやちであり、大変が失の範囲士といひ、飛行機の「転離の極には各関人ともくましい努力を使けて居ります。」 る我が登場の態度には各関人とも しい酸酸のもとに内鮮一家への鹿 野人の避 民である事に一つの節りをもも新 で我軍に 9のは一人もありません、日本國 | 供給され各國人をはじめ支那人ま 那人の避難民に差しのべられてゐ るましたが我が海軍によって衝突

を取得して四十萬の 東京都語に放答されました。以来、す、その中にあつて男童に内鮮一 型と思ひます。郷によれば近日 ― 我善軍の指揮によつて民館または、既の研覧が景々としてみら有観で 型と思ひます。郷によれば近日 ― 我善軍の指揮によつて民館または、既の研覧が景々としてみら有観で であった。日と前漢の歴、作人が居住して語りますが何れる。れ、街とい志樹は何の歌もない良

した、思いたの何のつてこの時日 大氏、が配置されてゐると、引載す支那兵の無情度主る射数と

か見物ですね」と奥太記事生は、その結成後日まだ浅いのに 金釵會の献金 三千圓に達す

房に引語り勝ちだつた朝鮮婦人(金指輪一箇、白金朝鮮式指輪一部)十三箇、銀簪一箇、金耳槍き二箇、



半島青年貴族

銃後に結束

### 献金美談二つ

那場で死を賭して飛踊してゐる点

報することに決定、これが終節度 ・ が結束して、我鬼軍を心から続 ・ が結束して、我鬼軍を心から続 ・ のいまして、我鬼軍を心から続 ・ のいまして、我鬼軍を心から続 ・ のいまして、我鬼軍を心から続 

の選牌としての使命達成に勇住 を 民衆に呼扱け丙鮮一體の質を顕し 上て 関係の 関係を 関す (三) 書 物 には して 同様の 関係を 教旨に して 同様の 関係を 教旨に と して 関係の 関係を 教旨に と して 関係の 関係を 教旨に と して 関係の 関係を 教旨を と しょう はい はい しゅう はい はい しょう はい はい しょう はい はい はい しょう はい はい はい しょう はい はい はい はい はい はい はい はい つてある鶏上羽が生んだ卵と質っ。 同町にさいやかな紫紫藍を維着し取つてつくつた千人針と肩尾に飼 給した、開破北本町女用拠でよほ

# たが設立さた東京部南面南川里の一覧されるとになり、自家の家裏中

たつてゐる折極、こんどはその物、形まいなくなり監視の陰を狙つて日間も監槃された馬塵森が活態に、地味壺を抵留にせよと脅迫されて を抱き上げ

てゐたが、去る十日ごろ友達の開

用、事活済、西剛米路族の三名で用、事活済、西剛米路族の三名で

清酒

### ぶり返す

酸脱し、角ほ酸症の指があるの

本年六、七月ごろ釜山及び東莞附一。

総器に掛け出るやう画様を起した

## 叉も監禁魔

豪遊の協句は詐欺師の一関に大金 九千條冊をまんまと捲きあげられ 時局補もわきまへず妓生を相手に 響るから』といつだ陽子で麻持金 九千餘圓を捲き上ぐ 一逢に無一文となるや、こんどは土

官職行方を通牒すると同時に、小 しを行ふこと、なり各道知事に勘 施して來たが、本年も左の如き個 を古斯変数日と足め恒例行事を實 本的社會教育器では毎年九月十日

入院隨意

中馬貨信院

恩

上募 四野九月一日 副湖市縣院出口 一 副湖市縣院出口

齒

**計村井知至光生(明神** 

失·數·國·漢·物化歷

募集 三英數學館

勘定題に闘する誘演曹又は座邑並又は民間有力開體をして 関係を究明の内鮮同根一體の

7119

T.O. 1

百内古蹟の修理保全、戦け曾、保勝曾その他機關

殿荷碑、内針一體の感情を発行内各初雪學校では古蹟研究

四日大連を最出に金州、碧闌店次廿五日入城したが同氏は去る

ふの最高温度三十一度四分 断れたり、懸つたり、きの

一種人した形跡があるので目下京城

はその後無踪を使め二十四日正午(無残にも敵殺された上展體となっ(金無役でよ。同衆指導によの南名で(香港廿五月周盟)看港のコレラ)を離れた松本里の蔣中から開名は、曹三水郡江城新海坂里土木淵貞業

# 非常時婦人講座 會員募集

とはソ警戒管制とはソ空襲管制とは?さん 地族間令影響中等より声感をれました。さて常時管制地族の部、京婆 なとか、家庭ではどうすればよい 配合部治熊谷少佐を迎へてればよいが、本社では家 熊谷少佐のお話と質問の會

・甘蔵以上の婦人 (田路館番はハガ

主催 京日婦人會

田省吾氏著述の「古代の内鮮關係」 子さんの

卿をする、睥睨を捉す。

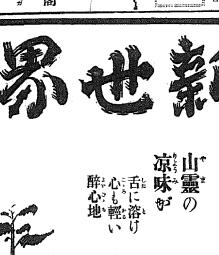
悪い病のはやる夏は、全く油節

早いのが特長です。早いのが特長です。というないお子さんにも、外の、胃腸薬と通つた效果で、配板の胃腸薬と通つた效果で、配板の トゼサンを服主せて下さい。こんな時は、あわてずに、すぐ

特別拿贝

新月腸薬評判の 二七〇紀 一円五〇紀 七〇紀 七〇紀 開化不良・腹痛急性、慢性の下痢 **感覚元 友田合資高社** 東京市日本橋區本町









節々や筋肉の痛みの 早く取れるのに驚く ▼產婆鄉生徒募集

**程痛が治る** 

チスと

本等。 花柳病專助 (188

《く程度く効く 申上ます。延申度即告記録くえば (昭りの方なら 説明決憲生法は御申越天孫御御送職)、野仲等が り茂原郷しないので驚かれます。通い 野中等が り茂原郷しないので驚かれます。

生 室川一四大生歌迎巡察會 水北米倉町銀行集會所 京 城 経 献 会

淤 豆□寒丸

**風五十銭第名は一回毎に五十五號哲学十五字語一回五日** 

告に限り特にき頭にて掲載す

**住** 室 跳上十六時間及水 地质府內水標則三十六番地 地震使明完爾

